

原著論文

越後大工の会津への出稼ぎ ―近世の阿賀川流域を中心に―

\* 内山 大介  
\*\* 小澤 弘道

はじめに

福島県立博物館で開催した平成三十年度春の企画展「匠のふるさと会津―技と折りの建築文化誌―」では、全体を六つに分けたコーナーのうち最後のふたつのコーナーにおいて、会津茅手（屋根葺き）と越後大工を紹介した。会津から関東をはじめとして他所へ出ていった屋根葺き職人と、越後から会津へとやってきて多くの実績を残した大工という、歴史上におけるそれぞれの職人の出稼ぎの実態に着目したものであった（内山二〇一八）。なかでも越後大工については、近世から近代にかけて会津での活発な活動があったことが知られているが、それに関する資料や研究は限られている。展示では、会津に残された古文書や棟札などと越後（特に間瀬）の大工が持ち伝えた道具や古文書などを組み合わせ構成した。本稿では、その後の調査を含めて展示では伝えることのできなかつた越後大工の会津における具体的な活動の足跡を、主に会津に残された史資料から明らかにしたい。なお本稿では、対象とした史料の解説を小澤が行い、それをもとにして内山が表の集計と本文の執筆を行った。

一、越後大工の出稼ぎ研究略史

福島県会津地方には、近世から近代にかけて越後（新潟県）から多くの大工が出稼ぎに来ていた。彼らは腕が良く働き者であったといい、評判の良い職人は各地で仕事を請け負った。実際に会津の各所で寺社や家屋、蔵などの建築の来歴を調査すると、越後の大工が関わったことの分かる棟札等の資料はいくつも確認できるし、また記録が残っていないまでも越後の大工が建てたという伝承の事例は枚挙に暇がない。草野和夫氏は東北における民家や棟札等の調査を通じて、十八世紀後半頃から会津山間部や盆地部の家作普請に越

後の出雲崎や間瀬の大工による出稼ぎが広がり、一方で山形県庄内地方には越後村上付近の大工の名前が見えるようになると指摘しており（草野一九九一）、越後の大工はそれぞれの地域ごとに各地に出稼ぎに出ていたようだ。

なかでも会津における越後大工の仕事については、須藤護氏が只見町や西会津町に出稼ぎに出ていた柏崎大工のモノグラフを紹介している（須藤一九八三）。それによれば、現在の柏崎市椎谷の大工・田村米吉（慶応三年生まれ）による大正期の会津への出稼ぎは以下のようなものであった。棟梁を中心にした四、五人の集団で三月十日頃に椎谷を発ち、徒歩で数泊しながら小出町、入広瀬村（いずれも現・魚沼市）を経由し、六十里越を通って只見町叶津へと出た。大正末頃からは、すでに新津・会津若松間の磐越西線が開通していたため、これで西会津町野沢まで行ったあと徒歩で現場まで向かったという。仕事場の中心は只見町で、九々生に「わらじ脱ぎ場」と呼ぶ定宿があり、その周辺のムラが得意先であった。三月から十二月二十日前後までは故郷には帰らず毎日のように働き、休みは盆の三日間だけであったが、その際にはわらじ脱ぎ場の家で盆行事に参加した。年の暮れには八十里越から三条へと出て、大工道具を調達してから椎谷へと帰った。米吉はこうして約半世紀にわたり会津に通って多くの仕事を手がけ、昭和五年に病気のため出稼ぎ先の会津で没した。

只見町に限らず、こうした越後の大工による出稼ぎは近世以来、会津全域で広く行われてきた。中村義隆氏は近世における越後蒲原地方の他所稼ぎを論じるなかで、同地方の平野部と海岸部における村落の実態を比較して検証している（中村二〇一〇）。越後からの他所稼ぎは十八世紀に入ると特に盛況を極めるといえるが、蒲原地方の平野部からの出稼ぎは水害や旱魃などの災害を契機としているのに対して、海岸部の村々は耕地が狭隘であり不確実な漁業だけに頼り切れなかったことが、他所稼ぎの背景にあったことを指摘す

\* 福島県立博物館  
\*\* 福島県民俗学会副会長

る。さらにこうした海岸部からの出国者の多くが大工や木挽などの職人であり、会津や北関東へと出稼ぎに行った。また新発田藩が会津との境に設けた山内口留番所に残された天保年間の通行人の記録「山内御番所日記」の分析から、会津方面へ向かった出国者は越前浜、角田浜、五ヶ浜（いずれも現・新潟市西蒲区）などの海岸村出身者が圧倒的に多く、角田浜からは下野や常陸といった北関東方面へ、五ヶ浜からは会津へと出稼ぎに向かっていたことを明らかにした。それは農閑期における季節的な仕事ではなく、二月頃から十二月まで一年のほとんどを現地で行う、専門的な職能集団であった。中村氏によれば、「山内御番所日記」に記載された出稼ぎ者のうち会津へ向かった者の出身地として多かったのは五ヶ浜と間瀬であった。特に「間瀬大工」は北陸や会津、さらに北海道などの出稼ぎ先で高く評価されたが、その技術は天正年間に能登から移住した職人たちによつて伝えられたとされており、民家から寺社建築まで幅広く扱う高い技術を持ち伝えていた。彼らのことを蒲原地方では「ハマ大工」と称していたというが、近郷のムラから弟子入りした例も多く、ひとつのブランドでもあった。

このような越後側からの他所稼ぎ（出稼ぎ）の実態研究に対して、それを受け入れた会津における越後大工の活動については、地元の研究者からいくつかの報告がみられる。渡邊良三氏は現在の金山町内にあたる近世の大石組において文政年間に発生した大水害や大地震後、その復興にともなう地域の神社や家屋の再建のため、間瀬を中心とする越後の大工が多く出稼ぎに来て普請にあたった事例を古文書の解読から明らかにしている（渡邊二〇〇四）。また旧南郷村（現・南会津町）で研究を続けた安藤紫香氏は、地元に残された棟札の調査をもとに間瀬大工の活動について報告した（安藤二〇〇a b）。それによれば、伊南川流域の旧南郷村内における多くの寺社と一部の民家に残された十八世紀初頭から十九世紀半ば頃までの十人以上の棟札に、間瀬から来た大工の名が記されていた。

こうした事例からも明らかとなり、会津における出稼ぎ大工は越後の中でも間瀬村（現在の新潟市西蒲区間瀬）出身の「間瀬大工」が非常に多いとされ、現在でもその名を聞くことが多い。地域では繊細な彫刻を得意とする堂宮大工としての印象も強く、記録としても残りやすい寺社建築にその名をとどめたものが多い。例えば田島町（現・南会津町）においても十八世紀末から十九世紀半ばにかけて八軒の寺社建築を手がけた記録が残されている（東北工業大学草野研究室一九八九）。

海岸部に位置する間瀬村は土地の九割を山林が占め、近世以来、漁業と出

稼ぎをなりわいとした村であった。『岩室村史』によれば、「間瀬村では男子は『末は漁師か大工』といわれるほどで、幕末から大工は会津地方、漁師は北陸海岸にわたって活躍」した（岩室村史編纂委員会一九七四）。

「男子の多くは一二、三才になると親方について徒弟時代をおくり、一年目は炊事、使い走り、二年目車引き、材木の穴掘り、三年目穴掘り、かんなかけ、四年目造作従事、五年目に一人前」になったといい、「間瀬大工は越後大工のなかでもっとも技術に優れ、実直な働きものとして、高く評価されていた」。

小澤弘道はこの間瀬大工の福島県内における仕事を跡づける

ために、各地に残された棟札や建築部材への墨書、古文書などのなかで間瀬大工の名が記されているものを一覧にして提示している（小澤二〇〇三）。それによれば、間瀬大工は現在の只見町や南会津町といった会津南部に多く見受けられるものの、喜多方市域などの会津北部や、中通りの白河市とその周辺、さらに浜通りの相双地区にも一部資料が残されていることが分かる。

こうした越後大工と地元会津の職人との関係について宮内貴久氏は、会津の大工が所持する番匠巻物から明らかにしている（宮内二〇〇二）。只見川流域の大工は、一人前の証として巻物を所持している。この番匠巻物には大工の起源譚をはじめ上棟式等の儀礼次第や祝詞、月日や方位の吉凶などが記されており、職人が独立することを認められると書き写しにより師匠から弟子へと伝授された。十八世紀末頃から作成され始めたとき、会津の大工の間では今なお棟梁から弟子へと巻物の伝授が行われている。宮内氏はこの伝授された巻物の系譜関係から、現在の奥会津で活躍する大工が所持する巻物のうちのいくつかは、越後大工の系譜に辿れるものがあることを明らかにしている。越後から出稼ぎに来ていた大工に会津の職人が弟子入りし、その技



図1 大正～昭和初頭の新潟県間瀬村全景



術が現在まで継承されてきたことが具体的な史料から分かる事例である。

また、特に間瀬大工の活動に関して、越後と会津の双方の資料をもとに出稼ぎの詳細を明らかにしたのが高井真希子氏である（高井二〇〇〇）。高井氏は間瀬大工の広域的な仕事のひとつの事例として、会津における活動を主に長岡市指定重要文化財の「渡部組御用留」、喜多方市慶徳に残された「他所職人控帳」、同市塩川町に残された「五職役銭札」などから考察した。それによれば、会津藩領における越後からの出稼ぎ大工は間瀬大工が最も多いこと、間瀬の大工は他国で仕事をするにあたり、地元の間瀬村における「大工役」などの成箇と出稼ぎ先における会津藩への役銭という二重の搾取を受けていたこと、入出国や域内での活動が役人等により厳しく管理されていたこと、職人ごとに逗留期間には長短がみられること、一人で地域を転々と活動する場合や小グループで行動する場合もあったことなど、出稼ぎ大工の仕事の具体的な様相が明らかにされた。

## 二、近世会津における出稼ぎ職人関連史料

### (一) 対象とする史料の概要

本稿ではこうした研究史をふまえつつ、会津のなかでも特に阿賀川流域の喜多方市と西会津町に残された三つの史料群の比較を通じて、よりミクロな視点から会津における越後大工の活動の地域性や特徴を明らかにする。ここで用いるのは、喜多方市慶徳町の外島家文書、西会津町上野尻の石本家文書、そして喜多方市塩川町の東条家文書の三つの史料群である。会津藩では十八世紀以降、領外からの職人の流入が増えたため、その人別調べを行って役銭を取り立て、また職人に対しては営業を許可する手札を渡した（会津若松史出版委員会一九六六）。今回対象とする史料群は、いずれもこうした他所職人への役銭取り立ての際につくられた記録である。

喜多方市慶徳町の外島家は、近世の会津藩領慶徳組十八箇村の郷頭を代々務めた家である。同家に残された「他所職人控帳」や「五職人御役銭取立帳」などの史料には、他所から出稼ぎに来た職人の名前、出身地、職種、逗留月、仕事をした村名、役銭の金額等が一月ごとに記されている。以下に挙げたものが、本稿で対象とする同家の資料である。（目録番号は喜多方市史編纂室一九九〇による）

### ① 享和三年 慶徳組他所職人控帳【目録番号七九三】

- ② 文化十一年 慶徳組他所職人役銭取立帳【目録番号七九五】
- ③ 文化十三年 慶徳組五職人御役銭取立帳【目録番号七九七】
- ④ 文化十四年 五職人御役銭取立御印札相渡帳【目録番号七八八】
- ⑤ 文化十五年 五職人御役銭取立御印札相渡帳【目録番号八〇〇】
- ⑥ 文政三年 慶徳組五職人御役銭取立帳【目録番号七九九】

この資料のうち①は享和三〇四年（文化一年）および文化三〇六年の慶徳組における出稼ぎ職人の活動記録である。これは既に『喜多方市史』に翻刻されて細かな分析がなされており（喜多方市史編纂委員会一九九四・一九九七）、その成果は先に挙げた高井氏や中村氏も利用している。しかし同家には同様な記録が②～⑥にも残されており、文化十一～十五年、文政二～三年の活動も把握できるため、本稿では改めてこれらの史料もその対象として加えながら考察を行った。

また西会津町上野尻の石本家は近世の上野尻村で肝煎を務めた家であり、さらに同村が越後街道の宿駅でもあったことから、検断・御米問屋なども同時に務めていた。同家にも、外島家と同じように他所職人の名前、出身地、職種、逗留月、仕事をした村名、役銭の金額等が一月ごとに記された、役銭徴収にあつての記録と思われる史料が残されている。本稿で対象とする史料は以下のとおりである。（目録番号は西会津町教育委員会一九八九による）

- ⑦ 文政五年 他所五職役銭取立方一卷【目録番号二四一九】
- ⑧ 文政六年 他所五職役銭取立方一卷【目録番号二四二〇】
- ⑨ 他所五職役銭取立【目録番号二九二五】
- ⑩（御印札受取控）【目録番号三〇六七】

石本家の史料からは、他所職人の役銭を組ごとに取りまとめる以前に、肝煎により村落単位で同様な集計が行われていたことが分かる。郷頭である外島家の資料に比べて範囲も狭く分量も少ないが、同様な性格を持つ資料であり、比較考察が可能である。なお⑨と⑩については表紙を欠いており作成年が不明であるが、内容から判断して同様の時期の史料であると思われる。

また東条家文書は、会津藩領塩川組二十四箇村の郷頭を務めた東条家が所持していた史料で、享和三年と文化四〇七年における他所からの出稼ぎ職人の名前、出身地、仕事をした村名、役銭の額、逗留月などが記された「役銭銀札渡覚」が残されていた（喜多方市教育委員会ほか二〇〇七）。外島家と

石本家の史料が役銭取り立ての際の人員帳であるのに対し、東条家の史料は職人に渡された手札の控えと考えられる。この史料は高井氏も翻刻と詳細な分析を行っているが、その後に喜多方市史編纂室や塩川町史編纂室によって整理が行われた。また最新のデータとしては『塩川町史』に一覧が掲載されているため、本稿ではそれを利用して、史料の翻刻は行っていない。

これらの史料群をもとに、出稼ぎに来ていた職人を月ごとに職、出身地、名前、仕事場をまとめたのが表1～3である。いずれも史料の記載順のままにしてあるため、時期が前後する箇所が多い。表1及び2は筆者が各史料の解説から作成したものであるが、表3は『塩川町史』所収の集計表（喜多方市教育委員会ほか二〇〇七）をもとに作成し直した。仕事場についてはそれぞれの郷頭や肝煎の管轄外の地名もみられるが、寝起きた宿のある地域を基本的に役銭徴収を行っていたためであろう。なお、各史料には出身地名や職名等の省略や誤記と考えられる箇所がみられるため、分析の必要上、筆者の判断により補った部分を括弧で記した。さらに表3については、複数名分を一括して組名のみが記されている（職人の名前が分からない）札がいくつかあり、その場合にも名前の項目に組名を括弧書きにしてある。

さらに、この表1～3を基礎データとして年ごとの職種別の人数を集計したのが表4～6である。基本的に同一年の記録のなかで出身地・職・名前が同じ場合は同一人物として集計し、年ごとの実人数として把握した。現地名は史料上の出身地名の表記（特に漢字）からの推定である。

## （2）慶徳組における出稼ぎ職人の活動

表1及び表4の外島家文書からみると、まずこれまで指摘されてきた通り、間瀬の大工が圧倒的に多いことが分かる。計十三年間の記録のうち、その最初の享和三年には三十名の越後大工の記録があるなかで十五名と半数が間瀬出身の大工であり、全体の延べ人数でも同様な傾向が指摘できる。次いで多いのが稲嶋、巻、赤塚の各大工であり、総じて慶徳組を得意先としていた大工の出身地が現在の新潟市南西部に集中しているのが分かる。

また木挽の出身地として多いのは橋本や保田といった地域だが、複数年の状況を考慮すると、大工が幅広い年代に続けて来ているのに対して木挽はそれぞれ特定の期間にしか訪れておらず、続いて三年程度であり、大工のように長期にわたって会津を得意先として仕事をしてきたようにはみえない。また享和三年でいえば、例えば吉志田（現・喜多方市松山町）では間瀬や弥

彦の大工と与板や割前の木挽が一緒に仕事をしている。しかし一方で、保田の木挽は享和三年に熱塩（現・喜多方市熱塩加納町）や入田付（現・喜多方市岩月町）に、橋本の木挽は文化十一年から十二年にかけて気多宮（現・会津坂下町）に多く出入りしているが、いずれも同地に越後大工の出稼ぎは記録されておらず、木挽が単独で出稼ぎに入っている様子が分かる。『喜多方市史』では享和三年の職人の集計から大工に伴って木挽と一緒に働いていることを指摘しているが（喜多方市史編纂委員会一九九七）、必ずしも大工と同一の現場で出稼ぎをしていたわけではなさそうだ。

また十三年間の延べ人数でみると、全部で一七九名いる職人のうち大工は一二八名、木挽は四十八名で、大工が七割を占める。こうしたことから、慶徳組を得意先として常に来ていた職人は、基本的には間瀬を中心とした大工であつたと指摘できる。

次に逗留月をみてみよう。図2は表1～3をもとに導き出した月別の職人の延べ人数をグラフ化したものである（閏月は除く）。外島家文書のグラフをみると、いずれの年も正月の活動は全く見られず、二月から（年によっては閏正月から）仕事が始まって七月に職人数が一旦減少するが、その後数は戻り、秋から冬にかけて少しずつ人数が減っていくのが分かる。十二月から一月の数の傾向について高井氏は、他国で越年しないことを藩で定めていたため、それを厳守した結果であると指摘する（高井二〇〇〇）。秋口からの減少傾向も同様にそれを物語っているといえよう。また一人の職人は数か月にわたり滞在することが一般的である。例えば、間瀬大工のなかでも最も多く登場する「嘉七」は、享和三年の二月～十一月まで八月を除く九か月間、文化四年の八月～十一月までの四か月間、文化五年の二月～十月まで（閏六月を含む）十か月間、文化十三年は三月～六月までの四か月間の、計二十七か月間を慶徳組内に宿を得て働いたことが記録されている。一方で、一、二か月という短期間のみ名前が登場する職人もいるが、稼ぎの面から考えるとその期間だけで会津から去ったとは考えにくい。別組の宿へ移って仕事を継続したことが想定される。

また仕事場については、一人の職人が同じ場所で仕事を続ける場合もあれば、いくつかの地域を移りながら仕事をする場合もあった。右に挙げた嘉七は、享和三年と四年に田原（現・喜多方市塩川町大田木）、新宮（現・喜多方市慶徳町）、慶徳（現・喜多方市慶徳町豊岡）の三つの村を仕事場としている。一方間瀬大工の栄七は、享和三年の閏正月と二月に吉志田で仕事をし、五・六月には山岩尾（現・喜多方市熱塩加納町）に移動したものの、七

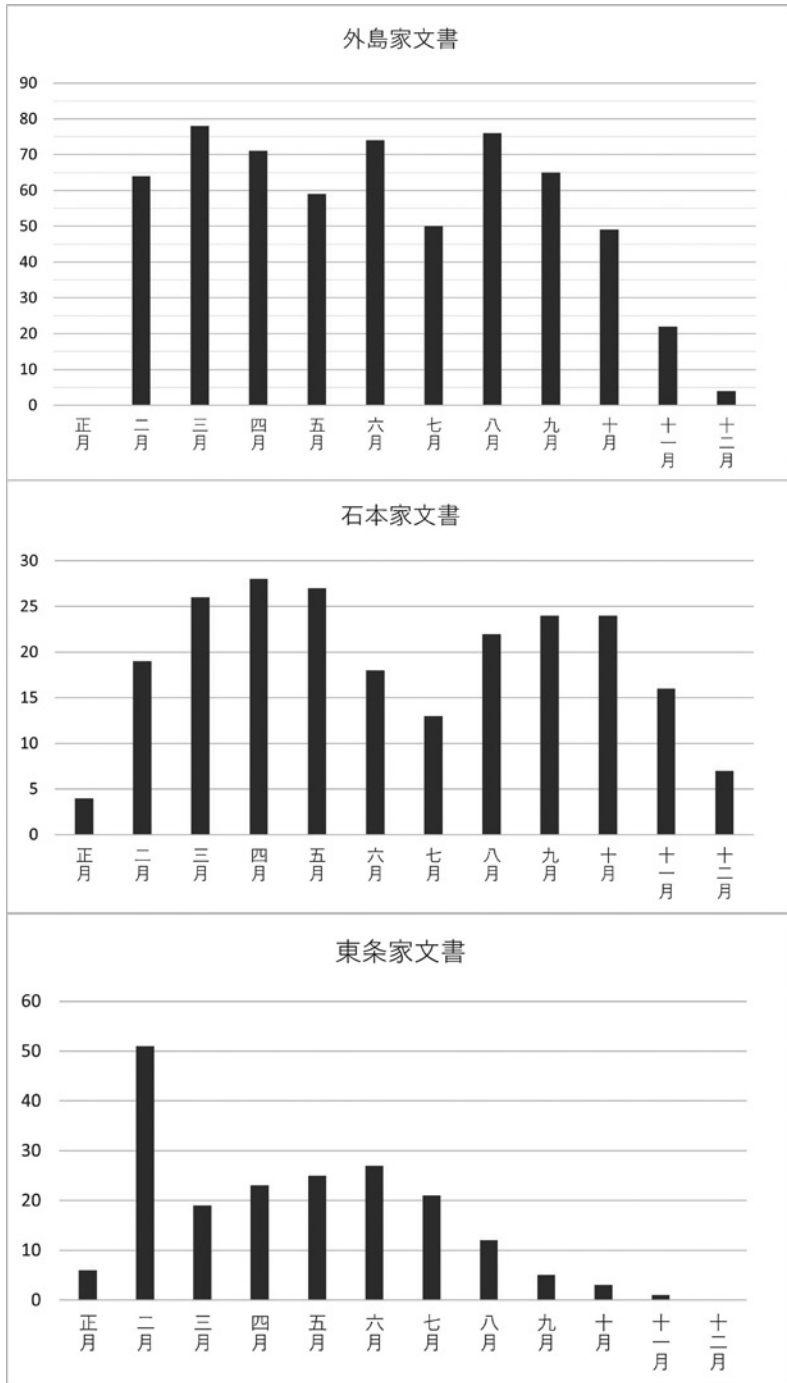


図2 史料群ごとの月別職人数

また逗留月別の人数については図2に示した通りである。傾向としては外島家の場合と同じように、二月から数が増えて七月に一度減少してまた数が戻り、秋から冬にかけて減少する。越後からの距離として慶徳組に比べて近いためか、ここでは正月にも若干の職人の出入りがみられる。但し、正月と十二月の仕事が記録されている職人は全て鍛冶である。またいずれの史料にも共通する七月の職人数の減少の要因には、盆の帰省が考えられる。上述した須藤氏による柏崎大工の例では盆の時期も会津にいたことが報告されているが、一方で例えば「渡部組御用留」には、文化十四年七月に間瀬大工三名が会津から盆の帰省をする際、八十里越で盗賊に金品を盗まれたという記録がみられる(高井二〇〇〇)。高井氏は金額から判断して十名前後の作

月から十月までは吉志田に戻って仕事をしている。これに関連して高井氏は、間瀬大工が小集団で分散して仕事をしながらも、隣村間に逗留する弟子たちを師匠が統括するような仕組みができていたことを指摘している(高井二〇〇〇)。つまり、一か月程度でひとつの仕事を終えたとみても、棟梁の職人が弟子たちの働く縄張りとしての仕事場を回っている結果と考えられる。但し、仕事場の記載については③以降の史料では省略する傾向が強まり、ほとんど記されていないために複数年にわたる傾向についての詳細は不明である。

### (3) 上野尻村・下野尻村における出稼ぎ職人の活動

表2及び表5は石本家の史料をもとに同様な集計を行ったものである。こ

一、二か月働いているに過ぎず、記録上は当地で働いていた出稼ぎ大工のほとんどが間瀬の大工であったということが出来る。またここで特徴的なのは、それぞれの地域ごとに異なる職種の人物が継続的に訪れていることであり、その職種の数も多いことである。間瀬の大工をはじめとして、加茂の木挽、五泉の石切、石瀬の桶結、小杉や鳳(解読できず)の鍛冶など、幅広い職種の職人が継続的に訪れている。しかもそれぞれ同一人物が繰り返し来ており、上野尻村と下野尻村の普請には、異なる職種の職人を束ねたひとつの集団が形成されていたようにみえる。これは、出稼ぎ職人のほとんどが大工であった慶徳組とは対照的であり、延べ人数でいえば石本家文書にみられる大工は職人全体の三割にも満たない。その要因は明確には分らないが、周辺地域に大工以外の諸職人が多くいたと思われる慶徳組では越後の大工と地元



料を持参して帰国する途次であったことを指摘しており、盆の帰省と合わせて職人のうち何名かが代表してその稼ぎを故郷へ持ち帰ったことが想定できる。外島家文書と石本家文書の七月の職人の数は最も多い月の三分の二から半数ほどであり、一部の職人の帰省の結果ではないだろうか。

また逗留する期間と場所であるが、例えば間瀬大工の「龍蔵」は文政五年の三月から十月まで（七月を除く）の七か月間、翌六年は二月から十月まで（五月を除く）の八か月間のうち記録がある月は全て下野尻で仕事をしている。同家は上野尻村の肝煎であり、記録上のほとんどが上野尻・下野尻いずれかの村での仕事となっている。

#### (4) 塩川組における出稼ぎ職人の活動

表3及び表6が「役銭銀札渡覚」による塩川組の出稼ぎ職人の動向である。これを確認すると、まずこれまでのふたつの史料群と同様に間瀬大工が最も多いことが分かる。年ごとの集計では六割以上が間瀬大工であり、それに次ぐのが与板の大工である。また約三割を木挽が占めており、与板の木挽が最も多いが、間瀬大工が複数年にまたがって働いているのに対して木挽は特定の年に来ており、慶徳組の場合と全く同じ傾向を指摘できる。また左官、指物師、桶結が一〜二名みられるが、これも特定の年に来ているのみで、石本家のような所職を含む職人集団を形成して出稼ぎに来ているようにはみえない。

同様に逗留月について図2に示したが、これはこれまでのふたつの史料と比較してやや傾向が異なり、二月が最も多く、六月にかけて微増するが、その後秋から冬になるにしたがって減っていく。但し註4にも記した通り、これが当該地域の全体的な動向を示したものでかどうかは不明である。一方、同資料には職人の名前ではなく「組」として人数のみ記された札がみられるが、これが一月と二月に集中している点は注目してよいだろう。「小次郎組」「六蔵組」「善八組」などといった、おそらく棟梁の名を冠した数名の大工や木挽から構成される組名が記載される点は、これまでの人別書上とは異なる史料の性格を反映している。このような組ごとの記載が正月と二月に多くみられることから、その年の仕事始めとして越後からグループを形成してやって来たことが想定される。

### 三、出稼ぎ職人による活動の特徴と地域性

ここまで、三つの地域における史料群の比較から越後大工の会津における活動の共通性や相違点をみてきた。特に会津には間瀬の大工が多かったことがいづれからも裏づけられ、またその多くが二月から会津に入り、一時的に帰省する場合もあるものの、秋口から冬にかけて会津で仕事をを行い、年末になると故郷に帰って年を越した。

この越後大工が会津で逗留した月に関連して、興味深い考察がある。越後大工が会津を訪れる際の主要な街道のうちのひとつに、新発田と会津若松を結ぶ会津街道（越後街道）が挙げられるが、桑原孝氏はその会津藩と新発田藩との境に置かれた山内口留番所における通行記録「山内御番所通行手形日記」を分析している（桑原一九九三）。それによれば、天保二年における越後から会津へ出た人の数は毎月数十人から一〇〇人前後である一方で、二月だけが一二七七人と数の上で他の月を圧倒している。この年の通行者の出身地は、数の多い村から①間瀬村一七件・三四二人、②五ヶ浜一五件・二七一人、③越前浜一一件・一三四人、赤塚村八件・七七人、⑤五十嵐浜六件・五五人」となっており、桑原氏はこれらの多くが他所稼ぎの職人集団であると考えるのが妥当であると指摘する。圧倒的な数の多さからすると、二月が職人たちの出稼ぎの仕事始めであったと考えられよう。

一方で間瀬以外の越後大工の割合には地域性があること、さらにそれ以外の諸職人の出稼ぎの状況にも地域差があることが分かった。外島家文書では大工に比べて木挽の出稼ぎは時期的に限定され、また越後の大工と一緒に行動することも、単独で働くこともあった。単独の場合には、おそらく会津の他職と共に仕事をしたのであろう。しかし石本家文書からは、間瀬大工と木



図3 大宝院不動堂の棟札

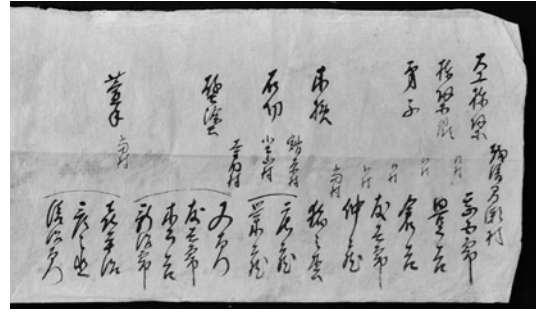


図4 土蔵建替二付諸品覚附帳



図5 龍福寺の棟札 (部分)

挽・石切・桶結・鍛冶などの越後からの様々な職種の出稼ぎ職人が、同じ地域で直接的に結びついて仕事をしてきたことが明らかになった。また木挽の出身地は慶徳組では保田や橋本、上野尻村・下野尻村では加茂、塩川組では与板などが多く、地域によって出身地によって結びつきがあることも把握できた。

うしの、あるいは越後と会津の職人の多様な結びつきについては、個別の普請に関する資料からもうかがえる。例えば会津美里町の有形文化財に指定された大宝院不動堂の文政四年の棟札(図3)には、棟梁として地元の大工・鈴木源五郎、「後見」に越後燕の大工・田村清松の名が記されている。さらに脇棟梁・柚木挽・彫師として、会津の村々に加えて現在の新潟市、燕市、長岡市、出雲崎町など越後の各所から職人が加わっている。また喜多方市山都町の佐藤家に残された文久二年の「土蔵建替二付諸品覚附帳」(図4)では、棟梁・棟梁脇・弟子三名の計五名の間瀬大工が普請を行い、木挽・石切・壁塗・茅手は地元や周辺集落から出ていることが分かる。一方で南会津町の例だが、熊野山龍福寺の文化七年の棟札(図5)には、間瀬村から幸村姓の、角海村から山添姓の「大工」と「小工」がそれぞれ二名ずつ普請に関わっていたことが記されており、越後のふたつの村の職人がグループを形成して建築活動を行ったことが分かる。このように、個々の現場における職人の構成は様々であり、大工を中心とする越後からの出稼ぎ職人は現場の需要に合わせた活動を展開していたと考えられる。

### おわりに

本稿では、同じような性格を持つ史料群を会津における各地域間で比較しながら、越後からの大工ならびに諸職人の活動の特徴と地域性を検討した。

冒頭でも記した通り、会津では越後大工に関する建築の伝承は数多い。また近年、それを裏づける資料が少しずつ発見され、個別の事例研究も進んでいる。一方で会津といっても非常に広く、出稼ぎ職人の受け入れにも各地で多様な実態があったことが考えられる。本稿ではその一端を示したに過ぎないが、こうした比較の作業を広げていくことでより具体的な出稼ぎの実態が描き出せるだろう。

最後に今後の課題を挙げておきたい。そのひとつは、職人間の重層的なネットワークの実態である。大工であれ木挽であれ、越後から会津に入った職人たちが勝手に仕事を行うことはできず、そこには地元の職人や地域住民、さらにそれを通じた村役人や藩とのネットワークがあったことが想定される。また一方で、例えば石本文書でも明らかなくとも、多様な出身地から異なる職種の職人が同じ地域を訪れて活動を展開する例もあり、地元越後においても地域間・職人間のネットワークが存在していたことをうかがわせる。こうした地元や出稼ぎ先でのつながりが確立していなければ、本稿で確認したような職人たちの仕事は成り立たなかつたであろう。その実態に迫るためには、越後と会津の双方における多くの史料の精査が必要となる。例えば山内口留番所などの藩を跨いだ人々の往來の記録を読み解くことで、さらに広い視野から地域間の人の移動を把握することも重要であるし、また一方で個々の現場に残された棟札や普請帳などの細かな記録類をひとつずつ拾い上げ、考察を積み上げていくことも有効であろう。

また、職人ごとの具体的な仕事のあり方にも目を向ける必要がある。個々の建築現場で仕事を担う大工に対して、例えば出稼ぎで会津へやってきた木挽は山林での木材の伐採から行ったのか、あるいは現場での製材を中心とした仕事であったのか。鍛冶屋については、出職で行う仕事としては大工道具の製作よりも目立てや修繕などが考えられよう。また石切や桶結は建築の現場で具体的にどのような仕事を担ったのか。もちろん民家や寺社などの建物の種類による違いも検討しなければならない。こうした普請の現場における諸職の仕事のあり方は、逗留した地域やその移動、滞在期間にも影響を与えていると考えられるが、本稿で対象とした史料からはうかがい知ることが難しい。文献だけでなく民俗調査の成果も充分に考慮する必要があるが、いずれも今後の課題としたい。

### 註

(1) 安藤氏が挙げた棟札には一点だけ永正十一年(一五一四)の事例があ



る。これについて中村氏は当時の時代状況や、他の棟札にある大工の名前と同一であることなどから、その年代に疑問を呈している。

- (2) もちろん浜通りや中通りにおいては、間瀬以外にも多くの越後大工が活躍している。例えば小野孝太郎氏は十九世紀中ごろに長倉村(現・伊達市)における寺社の普請に携わった五ヶ浜の大工・阿部政蔵を紹介している(小野二〇一八)。

- (3) 今回は同家に保管されている実際の史料をもとに改めて翻刻してその成果を考察した。『喜多方市史』における翻刻には一部間違いもみられたため、①の史料に関しても本稿の集約と同書の内容には一部整合しない部分がある。

- (4) 但し「役銭銀札渡覚」は一紙文書の束であり、またそれらは東条家に所蔵された状態で調査が行われたものではなく、収集や管理の経緯がやや不明確である。残された史料がその全体であるかどうかも分からないため、統計的な分析にも注意が必要である点を補足しておく。

- (5) 中村氏が指摘するように「間瀬大工」と称された人々の全てが間瀬出身であったとは限らない(中村二〇一〇)。上述した通り、間瀬の大工技術は近隣でも高い評価を受けており、例えば間瀬宮大工資料館所資料には明治八年に内野村(現新潟市)の住人が間瀬村の赤川友八に弟子入りする際、親が師匠に宛てた文書「大工職弟子入年季証」が残されているが(内山二〇一八)、他村から間瀬の大工に弟子入りした例が多くあり、そうした人々が「間瀬」の大工として出稼ぎ先で働いていたことも考えられる。

- (6) 史料上の月は全て旧暦であり、二月は春が近づき雪解けの進む季節であったと思われる。

参考文献

会津若松史出版委員会 一九六六『会津若松史』第四卷(会津藩政の展開)  
 安藤紫香 二〇〇〇 a 「続南郷村史42 越後間瀬の大工(1)」『広報なんごう』No.二〇六、南郷村役場  
 安藤紫香 二〇〇〇 b 「続南郷村史43 越後間瀬の大工(2)」『広報なんごう』No.二〇八、南郷村役場  
 岩室村史編纂委員会編 一九七四『岩室村史』  
 内山大介編 二〇一八『匠のふるさと会津―技と祈りの建築文化誌―』(企画展示図録) 福島県立博物館

小澤弘道 二〇〇三「住まいと暮らし」(歴春ふくしま文庫) 歴史春秋社  
 小澤弘道 二〇一五「坂下と越後の交流《間瀬大工》」『広報あいつばんげ』六一〇号

小澤弘道 二〇一八「峠を越えた職人たち―山が高く越後は見えぬ 越後恋しや山憎い―」『匠のふるさと会津―技と祈りの建築文化誌―』 福島県立博物館

小野孝太郎 二〇一八「越後『五ヶ浜大工』阿部政蔵の足跡」『福島県史料情報』第五十一号、福島県歴史資料館

喜多方市教育委員会・喜多方市塩川町史編さん委員会編 二〇〇七『塩川町史』第四巻資料編Ⅱ

喜多方市史編纂委員会 一九九四『喜多方市史』第五卷下(近世資料編Ⅲ)  
 喜多方市史編纂委員会 一九九七『喜多方市史』第二卷(近世通史編)  
 喜多方市史編纂室 一九九〇『喜多方市史資料目録 外島光子家文書・三浦大輔家文書・手代木俊英家文書・諸家文書Ⅰ』

草野和夫 一九九一『東北民家史研究』中央公論美術出版  
 桑原 孝 一九九三「会越の交通と山内番所」『阿賀路』三十号、阿賀路の会

須藤 護 一九八三「出稼ぎ大工考1 ある越後大工の出稼ぎ」『あるくみる』一九九一、日本観光文化研究所

高井真希子 二〇〇〇『越後間瀬村における在方集住大工の広域的建築活動に関する研究』(博士論文)

東北工業大学草野研究室編 一九八九『田島町社寺調査報告書』(田島町文化財調査報告書第六集)

中村義隆 二〇一〇『割地慣行と他所稼ぎ』刀水書房

西会津町教育委員会 一九八九『福島県西会津町史資料目録』第一集(石本雄也家文書)

宮内貴久 二〇〇二「番匠巻物研究序説」『会津只見の職人巻物』只見町教育委員会

渡邊良三 二〇〇四「越後大工と中川大工」『金山史談』第十四号、金山史談会

談会



表5 石本家文書にみる職種別人数

出身地	現地名(推定)	職	文政5年	文政6年	他所五職 役銭取立	(御印札 受取控)	合計
間瀬	新潟市西蒲区間瀬	大工	5	4		4	13
加茂	加茂市	木挽	3	3	2	1	10
長岡	長岡市	大工	1				1
和喜野	長岡市脇野町	木挽	1	1		1	2
五か	新潟市西蒲区五ヶ浜	大工	1				1
五泉	五泉市	石切	2	2	2	2	8
小杉	新潟市江南区	鍛冶	1	1	1		3
水原	阿賀野市水原	左官	1				1
石瀬	新潟市西蒲区石瀬	桶結	1	1	1	1	4
		不明				1	1
村松	五泉市村松	木挽	1	1	1		3
鳳■	不明	鍛冶	1	1	1	1	4
和野	新潟市西蒲区和納	大工	1				2
長浜村	柏崎市長浜町	不明		1			1
		木挽			1		1
小巻	燕市小牧	鍛冶				1	1

表6 東条家文書にみる職種別人数

出身地	現地名(推定)	職	享和3年	文化4年	文化5年	文化6年	文化7年	年不明	合計
間瀬	新潟市西蒲区間瀬	大工	17		5	5	2	6	35
稲嶋	新潟市西蒲区稲島	大工	1						1
斧森村	不明	木挽	1						1
柏崎 柏葉崎	柏崎市	大工			1			2	3
小巻	燕市小牧	木挽	1						1
さミ田	不明	木挽						1	1
称明	新潟市西蒲区称名	木挽	1						1
富永	燕市富永	不明						1	1
長岡	長岡市	木挽	1						1
中町	不明	大工	1						1
牧原村	柏崎市横原町	木挽	1						1
保田	阿賀野市保田	木挽	1					1	2
湯川村	不明	左官						1	1
		指物師						1	1
与板	長岡市与板町与板	大工	8	1	1	1		2	13
		木挽	10			3		4	17
		桶結						1	1
扇子田新田	不明	桶結					1	1	
麓	西蒲原郡弥彦村麓	大工			1				1

名前の分からない職人(組名のみ)は除く

史料名	年	月	出身(越後)	職	名前	仕事場(会津)
役銭銀札渡覚		閏正月	間瀬	大工	清吉	第六天村
役銭銀札渡覚		2月	間瀬	大工	清吉	第六天村
役銭銀札渡覚		3月	間瀬	大工	清吉	第六天村
役銭銀札渡覚		4月	間瀬	大工	清吉	第六天村
役銭銀札渡覚		5月	間瀬	大工	清吉	第六天村
役銭銀札渡覚		6月	与板	木挽	清七	太田

表4 外島家文書にみる職種別人数

出身地	現地名(推定)	職	享和3年	享和4年	文化3年	文化4年	文化5年	文化6年	文化11年	文化12年	文化13年	文化14年	文化15年	文政2年	文政3年	合計
間瀬	新潟市西蒲区間瀬	大工	15	3	2	10	5	3	1	3	7	2	2	2	4	59
		木挽	1													
出雲崎	三島郡出雲崎町	大工	1													1
		牧	3													3
弥彦	西蒲原郡弥彦村	大工	1													1
		木挽	2													2
稲嶋	新潟市西蒲区稲嶋	大工	3				2	1	1		5	4	1			17
		木挽	1													1
割前	新潟市西蒲区割前	木挽	4													4
巻	新潟市西蒲区	大工	3						2		10			3		18
吉田	燕市吉田	大工	1													1
笈ヶ嶋	燕市笈ヶ嶋	木挽	2													2
石瀬	新潟市西蒲区石瀬	木挽	2													2
赤塚	新潟市西区赤塚	大工	3				1	1	1	1		2	2	2		13
		木挽					1	1	1					1		4
田上	南蒲原郡田上町	木挽	1													1
保田	阿賀野市保田	木挽	7													7
野積	長岡市寺泊野積	木挽	1													1
与板	長岡市与板町与板	木挽	1													1
佐渡山	燕市佐渡山	木挽		3												3
中嶋	不明	木挽		1												1
庄じゑ 庄瀬	新潟市南区庄瀬	木挽				1				1						2
薄原	不明	木挽						1								1
橋本	新潟市西蒲区橋本?	木挽							3	9	3					15
観音寺	西蒲原郡弥彦村観音寺	大工									1					1
寺泊	長岡市寺泊	大工									1					1
嶋井	不明	大工									1					1
真木	新潟市南区真木?	大工										4				4
和野	新潟市西蒲区和納	大工										1				1
■■■	不明	大工												1		1
山口	不明	大工												1		1
新井分	不明	大工												1		1
角田	新潟市西蒲区角田浜	大工													3	3
水原	阿賀野市水原	大工													1	1
大野	不明	桶結						3								3



越後大工の会津への出稼ぎ - 近世の阿賀川流域を中心に -

史料名	年	月	出身(越後)	職	名前	仕事場(会津)
役銭銀札渡覚	文化5年	6月	与板	大工	竹藏	竹屋村
役銭銀札渡覚	文化5年	7月	与板	大工	竹藏	竹屋村
役銭銀札渡覚	文化5年	8月	麓	大工	要七	西連村
役銭銀札渡覚	文化5年	2月	柏崎	大工	且五郎	熊川
役銭銀札渡覚	文化5年	3月	柏崎	大工	且五郎	熊川
役銭銀札渡覚	文化5年	4月	柏崎	大工	且五郎	熊川
役銭銀札渡覚	文化5年	5月	柏崎	大工	且五郎	熊川
役銭銀札渡覚	文化5年	6月	柏崎	大工	且五郎	熊川
役銭銀札渡覚	文化5年	7月	柏崎	大工	且五郎	熊川
役銭銀札渡覚	文化5年	2月	間瀬	大工	甚五兵衛	深沢
役銭銀札渡覚	文化5年	3月	間瀬	大工	甚五兵衛	深沢
役銭銀札渡覚	文化5年	4月	間瀬	大工	甚五兵衛	深沢
役銭銀札渡覚	文化5年	5月	間瀬	大工	甚五兵衛	深沢
役銭銀札渡覚	文化5年	6月	間瀬	大工	甚五兵衛	深沢
役銭銀札渡覚	文化5年	7月	間瀬	大工	甚五兵衛	深沢
役銭銀札渡覚	文化5年	6月	間瀬	大工	善藏	常世
役銭銀札渡覚	文化5年	8月	間瀬	大工	万七	塩川
役銭銀札渡覚	文化5年	9月	間瀬	大工	万七	塩川
役銭銀札渡覚	文化5年	10月	間瀬	大工	万七	塩川
役銭銀札渡覚	文化5年	6月	間瀬	大工	久左衛門	常世
役銭銀札渡覚	文化5年	2月	間瀬	半役大工	又七	深沢
役銭銀札渡覚	文化5年	3月	間瀬	半役大工	又七	深沢
役銭銀札渡覚	文化5年	4月	間瀬	半役大工	又七	深沢
役銭銀札渡覚	文化5年	5月	間瀬	半役大工	又七	深沢
役銭銀札渡覚	文化5年	6月	間瀬	半役大工	又七	深沢
役銭銀札渡覚	文化5年	7月	間瀬	半役大工	又七	深沢
役銭銀札渡覚	文化7年	2月	間瀬	大工	又藏	勝常
役銭銀札渡覚			間瀬	大工	倉吉	
役銭銀札渡覚	文化6年	2月	与枝(与板)	木挽	又七	田中
役銭銀札渡覚	文化6年	3月	与枝(与板)	木挽	又七	田中
役銭銀札渡覚	文化6年	4月	与枝(与板)	木挽	又七	田中
役銭銀札渡覚	文化6年	5月	与枝(与板)	木挽	又七	田中
役銭銀札渡覚	文化6年	6月	与枝(与板)	木挽	又七	田中
役銭銀札渡覚	文化6年	7月	与枝(与板)	木挽	又七	田中
役銭銀札渡覚	文化6年	2月	与枝(与板)	木挽	喜久藏	田中
役銭銀札渡覚	文化6年	3月	与枝(与板)	木挽	喜久藏	田中
役銭銀札渡覚	文化6年	4月	与枝(与板)	木挽	喜久藏	田中
役銭銀札渡覚	文化6年	5月	与枝(与板)	木挽	喜久藏	田中
役銭銀札渡覚	文化6年	6月	与枝(与板)	木挽	喜久藏	田中
役銭銀札渡覚	文化6年	2月	与枝(与板)	木挽	又六	田中
役銭銀札渡覚	文化6年	3月	与枝(与板)	木挽	又六	田中
役銭銀札渡覚	文化6年	4月	与枝(与板)	木挽	又六	田中
役銭銀札渡覚	文化6年	5月	与枝(与板)	木挽	又六	田中
役銭銀札渡覚	文化6年	6月	与枝(与板)	木挽	又六	田中
役銭銀札渡覚	文化6年	7月	与枝(与板)	木挽	又六	田中
役銭銀札渡覚	文化6年	5月	間瀬	大工	甚五兵衛	三橋
役銭銀札渡覚	文化6年	6月	間瀬	大工	甚五兵衛	三橋
役銭銀札渡覚	文化6年	4月	間瀬	大工	甚五兵衛	塩川村
役銭銀札渡覚	文化6年	3月	与枝(与板)	大工	久右衛門	冬木沢村
役銭銀札渡覚	文化6年	7月	間瀬	大工	又藏	塩川村
役銭銀札渡覚	文化6年	8月	間瀬	大工	又藏	塩川村
役銭銀札渡覚	文化6年	2月	間瀬	大工	熊藏	上遠田村
役銭銀札渡覚	文化6年	3月	間瀬	大工	熊藏	上遠田村
役銭銀札渡覚	文化6年	4月	間瀬	大工	熊藏	上遠田村
役銭銀札渡覚	文化6年	5月	間瀬	大工	熊藏	上遠田村
役銭銀札渡覚	文化6年	6月	間瀬	大工	熊藏	上遠田村
役銭銀札渡覚	文化6年	8月	間瀬	大工	仙六	五城目村
役銭銀札渡覚	文化6年	7月	間瀬	大工	甚太郎	塩川村
役銭銀札渡覚	文化6年	8月	間瀬	大工	甚太郎	塩川村
役銭銀札渡覚	文化7年	2月	間瀬	大工	甚太郎	勝常村
役銭銀札渡覚	文化7年	2月	間瀬	半役大工	又藏	勝常村
役銭銀札渡覚			さミ田	木挽	左吉	
役銭銀札渡覚			扇子田新田	桶結	与五右衛門	深沢
役銭銀札渡覚		4月	間瀬	大工	清太郎	
役銭銀札渡覚		5月	間瀬	大工	清太郎	

内山大介・小澤弘道

史料名	年	月	出身(越後)	職	名前	仕事場(会津)
役銭銀札渡覚	享和3年	3月	間瀬	大工	甚五兵衛	
役銭銀札渡覚	享和3年	4月	間瀬	大工	甚五兵衛	
役銭銀札渡覚	享和3年	4月	間瀬	大工	甚太郎	
役銭銀札渡覚	享和3年	4月	間瀬	大工	久三郎	田中村
役銭銀札渡覚	享和3年	7月	与板	大工	善六	六丁原村
役銭銀札渡覚	享和3年	5月	間瀬	大工	善吉	
役銭銀札渡覚	享和3年	5月	与板	大工	与四藏	馬場新田村
役銭銀札渡覚	享和3年	5月	間瀬	半役大工	清吉	第六天村
役銭銀札渡覚	享和3年	6月	間瀬	半役大工	清吉	第六天村
役銭銀札渡覚	享和3年	7月	間瀬	半役大工	清吉	北田村
役銭銀札渡覚	享和3年	7月	間瀬	大工	弥之助	
役銭銀札渡覚	享和3年	7月	与板	大工	佐右衛門	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	7月	与板	半役大工	与平治	
役銭銀札渡覚	享和3年	7月	間瀬	大工	清太郎	北田村
役銭銀札渡覚	享和3年	9月	間瀬	大工	要七	西蓮村
役銭銀札渡覚	享和3年	4月	稲嶋	大工	丈助	村松新田村
役銭銀札渡覚	享和3年	5月	稲嶋	大工	丈助	村松新田村
役銭銀札渡覚	享和3年	6月	稲嶋	大工	丈助	村松新田村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	稲嶋	大工	丈助	村松新田村
役銭銀札渡覚	享和3年	3月	稲嶋	大工	丈助	村松新田村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	与板	木挽	仁助	田中村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	与板	木挽	清藏	竹屋村
役銭銀札渡覚	享和3年	5月	与板	木挽	清藏	(竹)水屋村
役銭銀札渡覚	享和3年	8月	与板	木挽	清藏	竹屋村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	与板	木挽	六藏	竹屋村
役銭銀札渡覚	享和3年	5月	与板	木挽	六藏	竹屋村
役銭銀札渡覚	享和3年	8月	与板	木挽	六藏	竹屋村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	与板	木挽	小次郎	田中村
役銭銀札渡覚	享和3年	3月	与板	木挽	小次郎	田中村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	与板	木挽	五七	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	5月	与板	木挽	五七	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	8月	与板	木挽	五七	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	与板	木挽	八郎	竹屋村
役銭銀札渡覚	享和3年	5月	与板	木挽	八郎	竹屋村
役銭銀札渡覚	享和3年	8月	与板	木挽	八郎	竹屋村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	与板	木挽	源七	田中村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	保田	木挽	惣九郎	浜崎村
役銭銀札渡覚	享和3年	9月	保田	木挽	惣九郎	常世村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	与板	木挽	徳左衛門	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	4月	与板	木挽	三平	赤井田村
役銭銀札渡覚	享和3年	4月	与板	木挽	権六	田中村
役銭銀札渡覚	享和3年	6月	与板	木挽	権六	田中村
役銭銀札渡覚	享和3年	6月	小卷	木挽	重藏	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	6月	称明	木挽	源八	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	8月	長岡	木挽	徳治郎	赤井田村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	牧原村	木挽	次郎兵衛	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	3月	牧原村	木挽	次郎兵衛	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	4月	牧原村	木挽	次郎兵衛	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	5月	牧原村	木挽	次郎兵衛	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	6月	牧原村	木挽	次郎兵衛	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	7月	牧原村	木挽	次郎兵衛	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	8月	牧原村	木挽	次郎兵衛	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	9月	牧原村	木挽	次郎兵衛	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	10月	牧原村	木挽	次郎兵衛	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	6月	斧森村	木挽	七郎次	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	7月	斧森村	木挽	七郎次	赤枝村
役銭銀札渡覚	享和3年	8月	斧森村	木挽	七郎次	赤枝村
役銭銀札渡覚		7月	湯川村	左官	三吉	
役銭銀札渡覚		7月	湯川村	指物師	仁右衛門	
役銭銀札渡覚	文化4年	6月	与板	大工	左吉	布藤村
役銭銀札渡覚	文化4年	7月	与板	大工	左吉	布藤村
役銭銀札渡覚	文化5年	2月	与板	大工	竹藏	竹屋村
役銭銀札渡覚	文化5年	3月	与板	大工	竹藏	竹屋村
役銭銀札渡覚	文化5年	4月	与板	大工	竹藏	竹屋村
役銭銀札渡覚	文化5年	5月	与板	大工	竹藏	竹屋村



表3 東条家文書にみる月別出稼ぎ職人一覧

史料名	年	月	出身(越後)	職	名前	仕事場(会津)
役銭銀札渡覚		正月	与板	木挽	(小次郎組)	塩川
役銭銀札渡覚		正月	与板	木挽	(小次郎組)	塩川
役銭銀札渡覚		正月	与板	木挽	(小次郎組)	塩川
役銭銀札渡覚		正月	与板	木挽	(小次郎組)	塩川
役銭銀札渡覚		正月	与板	桶結	庄藏	大和田村
役銭銀札渡覚		正月	与板	木挽	金藏	
役銭銀札渡覚		2月	与板	木挽	(六蔵組)	竹屋村
役銭銀札渡覚		2月	与板	木挽	(六蔵組)	竹屋村
役銭銀札渡覚		2月	与板	木挽	(六蔵組)	竹屋村
役銭銀札渡覚		2月	間瀬	大工	弥之助	小枝村
役銭銀札渡覚		2月	間瀬	大工	(善八組)	塩川
役銭銀札渡覚		2月	間瀬	大工	(善八組)	塩川
役銭銀札渡覚		2月	間瀬	大工	(善八組)	塩川
役銭銀札渡覚		2月	間瀬	大工	(善八組)	塩川
役銭銀札渡覚		2月	間瀬	大工	(善八組)	塩川
役銭銀札渡覚		6月	間瀬	大工	(要吉組)	
役銭銀札渡覚		6月	間瀬	大工	(要吉組)	
役銭銀札渡覚		11月	間瀬	大工	善八	塩川
役銭銀札渡覚		6月	間瀬	大工	(久吉組)	小田付
役銭銀札渡覚		6月	間瀬	大工	(久吉組)	小田付
役銭銀札渡覚		6月	間瀬	大工	(久吉組)	小田付
役銭銀札渡覚		6月	間瀬	大工	(久吉組)	小田付
役銭銀札渡覚		2月	与板	木挽	加七	若松
役銭銀札渡覚		5月	柏葉崎(柏崎)	木挽	金七	田中村
役銭銀札渡覚		2月	与板	大工	左吉	塩川
役銭銀札渡覚		2月	与板	大工	藤吉	北方漆村
役銭銀札渡覚		2月	与板	木挽	甚蔵	本寺
役銭銀札渡覚		2月	与板	木挽	(与吉)	猪苗代
役銭銀札渡覚		2月	与板	木挽	(与吉)	猪苗代
役銭銀札渡覚		2月	与板	木挽	(与吉)	猪苗代
役銭銀札渡覚		2月	柏崎	木挽	(源七組)	竹屋田中村
役銭銀札渡覚		2月	柏崎	木挽	(源七組)	竹屋田中村
役銭銀札渡覚		2月	柏崎	木挽	(源七組)	竹屋田中村
役銭銀札渡覚		7月	柏崎	木挽	伝治郎	
役銭銀札渡覚		5月	間瀬	大工	治左衛門	赤留村
役銭銀札渡覚		7月	保田	木挽	惣九郎	
役銭銀札渡覚		10月	富永		政之丞	
役銭銀札渡覚	享和3年	閏正月	間瀬	半役大工	与吉	塩川村
役銭銀札渡覚	享和3年	3月	間瀬	半役大工	与吉	塩川村
役銭銀札渡覚	享和3年	閏正月	間瀬	大工	甚七	田中村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	間瀬	大工	甚七	田中村
役銭銀札渡覚	享和3年	4月	間瀬	大工	甚七	田中村
役銭銀札渡覚	享和3年	閏正月	間瀬	大工	富蔵	嶋村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	間瀬	大工	熊蔵	塩川村
役銭銀札渡覚	享和3年	4月	間瀬	大工	熊蔵	塩川村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	間瀬	大工	兵次	塩川村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	間瀬	大工	善八	塩川村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	間瀬	大工	善四郎	塩川村
役銭銀札渡覚	享和3年	4月	間瀬	大工	善四郎	塩川村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	間瀬	大工	嘉藤次	塩川村
役銭銀札渡覚	享和3年	4月	間瀬	大工	嘉藤次	塩川村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	間瀬	大工	清六	高久
役銭銀札渡覚	享和3年	4月	間瀬	大工	清六	水やち
役銭銀札渡覚	享和3年	6月	間瀬	大工	清六	上乘川
役銭銀札渡覚	享和3年	9月	間瀬	大工	清六	北田村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	与板	大工	又吉	下[ ]宮村
役銭銀札渡覚	享和3年	3月	与板	大工	新次郎	
役銭銀札渡覚	享和3年	5月	与板	大工	新次郎	八日町村
役銭銀札渡覚	享和3年	3月	中町	大工	五郎作	
役銭銀札渡覚	享和3年	3月	本与札(与板)	半役大工	栄吉	
役銭銀札渡覚	享和3年	3月	与板与札(与板)	大工	太七	
役銭銀札渡覚	享和3年	5月	与板与札(与板)	半役大工	太七	八日町村
役銭銀札渡覚	享和3年	5月	与板与札(与板)	大工	太七	八日町村
役銭銀札渡覚	享和3年	2月	間瀬	大工	甚五兵衛	

内山大介・小澤弘道

史料名	年	月	出身(越後)	職	名前	仕事場(会津)
(御印札受取控)	—	3月	間瀬	大工	甚七	片門
(御印札受取控)	—	3月	間瀬	大工	長蔵	片門
(御印札受取控)	—	3月	間瀬	大工	豊吉	片門
(御印札受取控)	—	3月	わき野(脇野)	木挽	与吉	芝草
(御印札受取控)	—	4月	鳳■	鍛冶	栄松	上の尻
(御印札受取控)	—	4月	加茂	木挽	平蔵	下野尻
(御印札受取控)	—	4月	小巻村	鍛冶	千蔵	
(御印札受取控)	—	4月	五泉	石切	源之丞	下ノ
(御印札受取控)	—	5月	五泉	石切	源之丞	下ノ
(御印札受取控)	—	4月	五泉	石切	作之丞	上ノ
(御印札受取控)	—	5月	五泉	石切	作之丞	上ノ
(御印札受取控)	—	6月	石瀬	(桶結)	新蔵	上ノ
(御印札受取控)	—	2月	石瀬		新太郎	上野尻
(御印札受取控)	—	3月	石瀬		新太郎	
(御印札受取控)	—	4月	石瀬		新太郎	
(御印札受取控)	—	5月	石瀬		新太郎	
(御印札受取控)	—	6月	石瀬		新太郎	
(御印札受取控)	—	5月	小巻村	鍛冶	千蔵	上ノ尻
(御印札受取控)	—	6月	小巻村	鍛冶	千蔵	上ノ尻
(御印札受取控)	—	5月	鳳■	鍛冶	栄松	上ノ
(御印札受取控)	—	6月	鳳■	鍛冶	栄松	上ノ
(御印札受取控)	—	7月	(鳳■)	(鍛冶)	栄松	
(御印札受取控)	—	8月	(鳳■)	(鍛冶)	栄松	
(御印札受取控)	—	7月	小巻	(鍛冶)	千蔵	
(御印札受取控)	—	8月	小巻	(鍛冶)	千蔵	
(御印札受取控)	—	8月	加茂	(木挽)	平蔵	
(御印札受取控)	—	7月	石瀬		新太郎	
(御印札受取控)	—	8月	石瀬		新太郎	
(御印札受取控)	—	9月	石瀬		新太郎	
(御印札受取控)	—	9月	(鳳■)	(鍛冶)	栄松	
(御印札受取控)	—	10月	(鳳■)	(鍛冶)	栄松	
(御印札受取控)	—	9月	(小巻)	(鍛冶)	千蔵	
(御印札受取控)	—	10月	(小巻)	(鍛冶)	千蔵	
(御印札受取控)	—	10月	(石瀬)		新太郎	
(御印札受取控)	—	9月	(加茂)	(木挽)	平蔵	
(御印札受取控)	—	11月	(鳳■)	(鍛冶)	栄松	
(御印札受取控)	—	11月	(小巻)	(鍛冶)	千蔵	
(御印札受取控)	—	10月	(加茂)	(木挽)	平蔵	
(御印札受取控)	—	11月	(加茂)	(木挽)	平蔵	
(御印札受取控)	—	11月	(石瀬)	(桶結)	新蔵	
(御印札受取控)	—	12月	(鳳■)	(鍛冶)	栄松	
(御印札受取控)	—	12月	(小巻)	(鍛冶)	千蔵	
(御印札受取控)	—	11月	(石瀬)		新太郎	



越後大工の会津への出稼ぎ - 近世の阿賀川流域を中心に -

史料名	年	月	出身(越後)	職	名前	仕事場(会津)
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	8月	(鳳■)	(鍛冶)	栄松	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	7月	(小杉)	(鍛冶)	彦次郎	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	8月	(小杉)	(鍛冶)	彦次郎	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	8月	(加茂)	(木挽)	平蔵	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	8月	(間瀬)	(大工)	龍蔵	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	8月	間瀬	大工	信蔵	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	9月	和喜野町(脇野)	木挽	松兵衛	芝草
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	9月	間瀬	大工	龍蔵	下の尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	9月	間瀬	大工	信蔵	下野尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	9月	(鳳■)	(鍛冶)	栄松	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	9月	(小杉)	(鍛冶)	彦次郎	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	9月	加茂	木挽	清助	下野尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	10月	間瀬	(大工)	信蔵	下野尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	10月	間瀬	(大工)	龍蔵	下野尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	10月	(鳳■)	(鍛冶)	栄松	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	10月	(小杉)	(鍛冶)	彦次郎	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	10月	石瀬	(桶結)	新蔵	下野尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	9月	(加茂)	(木挽)	右蔵	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	9月	(加茂)	(木挽)	平蔵	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	10月	(加茂)	(木挽)	平蔵	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	11月	間瀬	大工	信蔵	下
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	11月	加茂	木挽	平蔵	下
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	11月	鳳■	鍛冶	栄松	上
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	11月	小杉	鍛冶	彦次郎	上
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	12月	(鳳■)	(鍛冶)	栄松	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	12月	(小杉)	(鍛冶)	彦次郎	
他所五職役銭取立	—	3月	長浜村	木挽	重吉	上ノ
他所五職役銭取立	—	2月	加茂	(木挽)	平蔵	下ノ
他所五職役銭取立	—	3月	加茂	(木挽)	平蔵	下ノ
他所五職役銭取立	—	正月	鳳■	(鍛冶)	栄松	上ノ
他所五職役銭取立	—	2月	鳳■	(鍛冶)	栄松	上ノ
他所五職役銭取立	—	正月	小杉	(鍛冶)	彦次郎	上ノ
他所五職役銭取立	—	3月	小杉	(鍛冶)	彦次郎	上ノ
他所五職役銭取立	—	2月	小杉	(鍛冶)	彦次郎	上ノ
他所五職役銭取立	—	5月	村松	(木挽)	三太郎	
他所五職役銭取立	—	4月	(小杉)	(鍛冶)	彦次郎	
他所五職役銭取立	—	5月	(小杉)	(鍛冶)	彦次郎	
他所五職役銭取立	—	5月	石瀬	桶結	新蔵	
他所五職役銭取立	—	5月	(加茂)	木挽	平蔵	
他所五職役銭取立	—	4月	(加茂)	木挽	平蔵	
他所五職役銭取立	—	5月	五泉	(石切)	源之丞	
他所五職役銭取立	—	5月	五泉	(石切)	作之丞	
他所五職役銭取立	—	6月	加茂	(木挽)	平蔵	下
他所五職役銭取立	—	6月	(村松)	木挽	三太郎	下
他所五職役銭取立	—	6月	(小杉)	(鍛冶)	彦次郎	
他所五職役銭取立	—	8月	(鳳■)	(鍛冶)	栄松	
他所五職役銭取立	—	閏8月	(鳳■)	(鍛冶)	栄松	
他所五職役銭取立	—	閏8月	(小杉)	(鍛冶)	彦次郎	
他所五職役銭取立	—	7月	(加茂)	(木挽)	平蔵	
他所五職役銭取立	—	8月	(加茂)	(木挽)	平蔵	
他所五職役銭取立	—	閏8月	(加茂)	(木挽)	平蔵	
他所五職役銭取立	—	閏8月	(加茂)	(木挽)	右蔵	
他所五職役銭取立	—	9月	(加茂)	(木挽)	平蔵	
他所五職役銭取立	—	9月	(小杉)	(鍛冶)	彦次郎	
他所五職役銭取立	—	10月	(加茂)	(木挽)	平蔵	
他所五職役銭取立	—	10月	(小杉)	(鍛冶)	彦次郎	
他所五職役銭取立	—	10月	加茂	木挽	右蔵	下尻居
他所五職役銭取立	—	11月	(加茂)	(木挽)	平蔵	
他所五職役銭取立	—	11月	(小杉)	(鍛冶)	彦次郎	
他所五職役銭取立	—	12月	(小杉)	(鍛冶)	彦次郎	
(御印札受取控)	—	2月	加茂	木挽	平蔵	下野尻
(御印札受取控)	—	3月	加茂	木挽	平蔵	
(御印札受取控)	—	2月	鳳■	鍛冶	栄松	上の尻
(御印札受取控)	—	3月	鳳■	鍛冶	栄松	
(御印札受取控)	—	3月	間瀬	大工	栄蔵	片門

史料名	年	月	出身(越後)	職	名前	仕事場(会津)
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	9月	和喜野(脇野)	木挽	又七	上ノ尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	9月	石瀬	(桶結)	新蔵	上ノ尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	9月	加茂	木挽	平蔵	下の尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	9月	加茂	木挽	寅七	下の尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	10月	水原	左官	惣内	白坂
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	10月	間瀬	大工	嘉七	白坂
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	10月	石瀬	(桶結)	新蔵	下
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	10月	五か	(大工)	■七	下
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	10月	間瀬	大工	弥郎七	下
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	10月	間瀬	大工	龍蔵	下
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	10月	和喜野(脇野)	木挽	又七	上ノ
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	10月	鳳■	鍛冶	栄松	上ノ
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	10月	小杉	鍛冶	彦次郎	上ノ
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	11月	間瀬	大工	嘉七	下ノ尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	10月	間瀬	大工	幸助	
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	11月	間瀬	大工	幸助	
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	10月	加茂	木挽	平蔵	
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	11月	加茂	木挽	平蔵	
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	11月	鳳■	(鍛冶)	栄松	
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	11月	小杉	(鍛冶)	彦次郎	
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	12月	小杉	鍛冶	彦次郎	
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	12月	鳳■	鍛冶	栄松	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	正月	小杉	鍛冶	彦次郎	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	正月	鳳■	(鍛冶)	栄松	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	2月	間瀬	大工	幸助	下ノ
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	2月	間瀬	大工	龍蔵	下ノ
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	2月	間瀬	大工	信蔵	下ノ
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	2月	加茂	木挽	平蔵	下ノ
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	2月	鳳■	鍛冶	栄松	上ノ
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	3月	間瀬	大工	龍蔵	下尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	4月	間瀬	大工	龍蔵	下尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	3月	間瀬	大工	幸助	下尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	4月	間瀬	大工	幸助	下尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	4月	間瀬	大工	信蔵	下尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	3月	加茂	木挽	平蔵	下の尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	4月	間瀬	大工	嘉七	下尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	3月	鳳■	鍛冶	栄松	上ノ
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	4月	鳳■	鍛冶	栄松	上ノ
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	3月	小杉	鍛冶	彦次郎	上ノ
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	4月	小杉	鍛冶	彦次郎	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	3月	加茂	木挽	右蔵	下の尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	4月	加茂	木挽	右蔵	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	5月	加茂	木挽	右蔵	
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	5月	五せん(五泉)	(石切)	作之丞	上ノ
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	5月	五せん(五泉)	(石切)	源之丞	上ノ
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	4月	五せん(五泉)	(石切)	源之丞	上ノ
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	4月	五せん(五泉)	(石切)	作之丞	上ノ
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	5月	間瀬	(大工)	幸助	下
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	5月	間瀬	(大工)	嘉七	下
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	5月	村松	(木挽)	三太郎	下
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	5月	鳳■	(鍛冶)	栄松	上
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	5月	小杉	(鍛冶)	彦次郎	上
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	6月	間瀬	大工	幸助	下の尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	4月	加茂	木挽	平蔵	下の尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	5月	加茂	木挽	平蔵	下の尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	6月	加茂	木挽	平蔵	下の尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	6月	鳳■	鍛冶	栄松	上尻居
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	6月	小杉	鍛冶	彦次郎	上尻居
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	6月	間瀬	大工	龍蔵	下尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	7月	間瀬	大工	龍蔵	下尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	7月	加茂	木挽	平蔵	下尻
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	7月	長浜村		十吉	上尻居
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	7月	石瀬	桶結	新蔵	上尻居
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	8月	石瀬	桶結	新蔵	上尻居
文政六年他所五職役銭取立方一卷	文政6年	7月	(鳳■)	(鍛冶)	栄松	



表2 石本家文書にみる月別出稼ぎ職人一覧

史料名	年	月	出身(越後)	職	名前	仕事場(会津)
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	閏正月	鳳■	鍛冶	栄松	
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	2月	長岡	大工	茂助	下の尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	閏正月	和野(和納)	大工	寅藏	
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	2月	間瀬	大工	弥郎七	
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	2月	間瀬	大工	熊藏	
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	閏正月	加茂	木挽	平藏	
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	閏正月	加茂	木挽	平藏	
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	2月	加茂	木挽	平藏	
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	2月	鳳■	鍛冶	栄松	
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	2月	村松	木挽	三太郎	
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	3月	村松	木挽	三太郎	下尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	3月	間瀬	大工	弥郎七	下尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	3月	間瀬	大工	龍藏	下尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	3月	加茂	木挽	右藏	上野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	2月	五か	大工	■■七	上野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	3月	五か	大工	■■七	上野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	3月	(加茂)	木挽	平藏	下野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	3月	鳳■	鍛冶	栄松	上野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	2月	和喜野(脇野)	木挽	又七	上ノ
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	3月	和喜野(脇野)	木挽	又七	上ノ
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	4月	村松	木挽	三太郎	下の尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	4月	間瀬	大工	弥郎七	■■
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	4月	間瀬	大工	龍藏	■■
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	4月	加茂	木挽	平藏	■■
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	4月	鳳■	鍛冶	栄松	上野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	4月	和喜野(脇野)	木挽	又七	上野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	4月	五泉	石切	源之丞	上野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	4月	五泉	石切	作之丞	上野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	閏正月	長岡	大工	茂助	下野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	3月	長岡	大工	茂助	下野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	4月	長岡	大工	茂助	下野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	4月	五か	大工	■■七	下野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	5月	五か	大工	■■七	下野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	5月	間瀬	大工	弥郎七	下野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	5月	間瀬	大工	龍藏	下野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	5月	鳳■	鍛冶	栄松	上野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	5月	和喜野(脇野)	木挽	又七	上野尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	5月	加茂	木挽	平藏	下の尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	5月	石瀬	桶結	新藏	上ノ尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	6月	間瀬	大工	弥郎七	下
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	6月	間瀬	大工	龍藏	下
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	6月	加茂	木挽	平藏	下
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	6月	鳳■	鍛冶	栄松	上の
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	6月	和喜野(脇野)	木挽	又七	上ノ
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	6月	村松	木挽	三太郎	下の尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	7月	鳳■	鍛冶	栄松	上ノ
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	7月	間瀬	大工	弥郎七	下ノ
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	7月	和喜野(脇野)	(木挽)	又七	上ノ
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	8月	間瀬	大工	弥郎七	下の尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	8月	間瀬	大工	龍藏	下の尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	8月	加茂	木挽	平藏	下の尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	8月	間瀬	大工	嘉七	下の尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	8月	間瀬	大工	幸助	下の尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	8月	村松	木挽	三太郎	下尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	8月	加茂	木挽	右藏	下尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	8月	鳳■	鍛冶	栄松	上ノ
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	8月	石瀬	桶結	新藏	上ノ
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	8月	和喜野(脇野)	木挽	又七	上ノ尻
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	9月	間瀬	大工	幸助	下ノ
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	9月	間瀬	大工	弥郎七	下ノ
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	9月	間瀬	大工	嘉七	下ノ
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	9月	間瀬	大工	龍藏	下ノ
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	9月	鳳■	鍛冶	栄松	上ノ
文政五年他所五職役銭取立方一卷	文政5年	9月	小杉	鍛冶	彦次郎	上ノ

内山大介・小澤弘道

史料名	年	月	職	出身(越後)	名前	仕事場(会津)
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	6月	大工	山口	太惣治	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	7月	大工	山口	太惣治	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	8月	大工	山口	太惣治	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	8月	大工	間瀬	仁三郎	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	9月	大工	間瀬	仁三郎	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	10月	大工	間瀬	仁三郎	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	7月	大工	巻村	染吉	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	8月	大工	巻村	染吉	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	9月	大工	巻村	染吉	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	10月	大工	巻村	染吉	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	7月	半役大工	巻村	徳蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	8月	半役大工	巻村	徳蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	9月	半役大工	巻村	徳蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	7月	半役大工	巻村	三蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	8月	半役大工	巻村	三蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	9月	半役大工	巻村	三蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	11月	大工	赤塚	門蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	11月	大工	赤塚	清助	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	11月	大工	間瀬	仁三郎	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	9月	大工	山口	太惣治	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	10月	大工	山口	太惣治	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	2月	大工	間瀬	仁三郎	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	6月	大工	間瀬	仁三郎	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	2月	大工	水原	太惣次	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	3月	大工	水原	太惣次	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	4月	大工	水原	太惣次	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	5月	大工	水原	太惣次	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	6月	大工	水原	太惣次	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	7月	大工	水原	太惣次	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	8月	大工	水原	太惣次	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	9月	大工	水原	太惣治(次)	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	10月	大工	水原	太惣治(次)	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	11月	半役大工	水原	太惣治(次)	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	3月	大工	角田	五助	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	3月	大工	間瀬	加七	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	4月	大工	間瀬	加七	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	5月	大工	間瀬	加七	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	6月	大工	間瀬	加七	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	7月	大工	間瀬	加七	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	3月	大工	間瀬	仁三郎	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	4月	大工	間瀬	仁三郎	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	5月	大工	間瀬	仁三郎	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	3月	大工	角田	惣吉	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	3月	大工	角田	十吉	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	8月	大工		嘉吉	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	9月	大工		嘉吉	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	10月	大工		嘉吉	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	11月	大工		嘉吉	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	8月	大工		仁三郎	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	9月	大工		仁三郎	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	10月	大工		仁三郎	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	8月	大工	間瀬	五兵衛	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	9月	大工	間瀬	五兵衛	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	10月	大工	間瀬	五兵衛	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	11月	大工	間瀬	五兵衛	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	8月	大工	間瀬	仁之助	
文政三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文政3年	9月	大工	間瀬	仁之助	



越後大工の会津への出稼ぎ - 近世の阿賀川流域を中心に -

史料名	年	月	職	出身(越後)	名前	仕事場(会津)
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	2月	大工	稲嶋	傳之助	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	2月	大工	赤塚	清助	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	2月	大工	赤塚	門蔵	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	2月	大工	真木村	■四郎	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	2月	大工	真木村	甚蔵	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	3月	大工	真木村	甚蔵	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	3月	大工	稲嶋	平七	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	3月	大工	稲嶋	助蔵	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	4月	大工	稲嶋	助蔵	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	4月	大工	稲嶋	平七	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	2月	大工	真木村	助吉	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	2月	大工	真木村	染吉	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	3月	大工	真木村	助吉	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	4月	大工	真木村	助吉	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	3月	大工	真木村	染吉	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	4月	大工	真木村	染吉	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	5月	大工	稲嶋	平七	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	6月	大工	稲嶋	平七	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	5月	大工	稲嶋	助蔵	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	6月	大工	稲嶋	助蔵	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	3月	大工	稲嶋	傳兵衛	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	4月	大工	稲嶋	傳兵衛	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	5月	大工	稲嶋	傳兵衛	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	6月	大工	稲嶋	傳兵衛	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	8月	大工	間瀬	嘉吉	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	8月	大工	赤塚	清助	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	8月	大工	赤塚	門蔵	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	9月	大工	赤塚	清助	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	9月	大工	赤塚	門蔵	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	10月	大工	赤塚	清助	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	10月	大工	赤塚	清助	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	8月	大工	和野(和納)	栄七	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	9月	大工	和野(和納)	栄七	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	10月	大工	和野(和納)	栄七	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	11月	大工	和野(和納)	栄七	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	2月	大工	間瀬	与平	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	3月	大工	間瀬	与平	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	2月	大工	赤塚	清介(助)	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	2月	大工	赤塚	門蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	3月	大工	赤塚	清介(助)	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	4月	大工	赤塚	清介(助)	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	3月	大工	赤塚	門蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	4月	大工	赤塚	門蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	5月	大工	赤塚	門蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	6月	大工	稲嶋	助蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	6月	大工	赤塚	門蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	5月	大工	赤塚	清助	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	6月	大工	赤塚	清助	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	7月	大工	赤塚	清助	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	7月	大工	赤塚	門蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	8月	大工	間瀬	嘉吉	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	9月	大工	間瀬	嘉吉	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	10月	大工	間瀬	嘉吉	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	11月	大工	間瀬	嘉吉	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	8月	大工	赤塚	門蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化15年	9月	大工	赤塚	門蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	2月	大工	間瀬	与平	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	2月	大工	間瀬	仁三郎	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	3月	大工	間瀬	仁三郎	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	2月	大工	新井分	亀太郎	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	3月	大工	新井分	亀太郎	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	4月	木挽	赤塚	栄太郎	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	4月	大工	■■	八百蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	閏4月	大工	■■	八百蔵	
文化十五年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文政2年	5月	大工	山口	太惣治	



史料名	年	月	職	出身(越後)	名前	仕事場(会津)
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	7月	木挽	橋本	善八	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	8月	(木挽)	橋本	善八	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	閏8月	(木挽)	橋本	善八	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	9月	(木挽)	橋本	善八	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	9月	大工	卷村	甚蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	10月	大工	卷村	甚蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	9月	大工	間瀬	与平	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	10月	大工	間瀬	与平	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	10月	大工	間瀬	三治郎	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	11月	大工	間瀬	三治郎	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	12月	(大工)	間瀬	三治郎	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	3月	大工	卷	甚蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	4月	大工	卷	甚蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	5月	大工	卷	甚蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	大工	卷	甚蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	7月	大工	卷	甚蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	8月	大工	卷	甚蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	閏8月	大工	卷	甚蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	9月	大工	卷	甚蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	3月	大工	卷	傳蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	4月	大工	卷	傳蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	大工	卷	傳蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	3月	大工	稲嶋	九兵衛	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	4月	大工	稲嶋	九兵衛	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	5月	大工	稲嶋	九兵衛	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	大工	稲嶋	九兵衛	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	3月	大工	間瀬	嘉七	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	4月	大工	間瀬	嘉七	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	5月	大工	間瀬	嘉七	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	大工	間瀬	嘉七	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	3月	半役大工	卷	亀蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	4月	半役大工	卷	亀蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	3月	半役大工	寺泊	新吉	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	4月	半役大工	寺泊	新吉	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	3月	大工	間瀬	嘉惣次	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	4月	大工	間瀬	嘉惣次	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	3月	大工	卷	清吉	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	4月	大工	卷	清吉	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	3月	大工	稲嶋	助吉	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	4月	大工	稲嶋	助吉	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	7月	大工	稲嶋	助吉	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	3月	大工	卷	十五郎	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	4月	大工	卷	十五郎	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	大工	卷	十五郎	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	大工	卷	助友	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	7月	大工	卷	助友	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	3月	大工	間瀬	三治郎	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	4月	大工	間瀬	三治郎	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	大工	間瀬	三治郎	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	半役大工	卷	宇蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	大工	稲嶋	傳兵衛	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	大工	稲嶋	作蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	7月	大工	稲嶋	作蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	大工	間瀬	松蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	大工	間瀬	嘉蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	半役大工	稲嶋	作七	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	3月	大工	卷	友蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	4月	大工	卷	友蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	大工	卷	友蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	7月	大工	卷	友蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	7月	大工	間瀬	三治郎	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	7月	大工	卷	佐四郎	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	2月	大工	間瀬	与兵衛	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	2月	大工	稲嶋	助蔵	
文化十四年五職人御役銭取立御印札相渡帳	文化14年	2月	大工	稲嶋	平七	

越後大工の会津への出稼ぎ - 近世の阿賀川流域を中心に -

史料名	年	月	職	出身(越後)	名前	仕事場(会津)
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	4月	大工	赤つか	清介(助)	松野村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	3月	木挽	橋本	源八	慶徳
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	4月	木挽	橋本	源八	慶徳
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	3月	木挽	橋本	栄七	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	4月	木挽	橋本	栄七	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	3月	木挽	橋本	十吉	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	4月	木挽	橋本	十吉	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	3月	木挽	橋本	當五郎	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	4月	木挽	橋本	當五郎	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	3月	木挽	橋本	仁太郎	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	4月	木挽	橋本	仁太郎	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	4月	大工	間瀬	善助	宇内
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	5月	大工	赤塚	清助	無代田(舞台田)
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	6月	大工	赤塚	清助	無代田(舞台田)
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	7月	大工	赤塚	清助	無代田(舞台田)
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	5月	木挽半役	庄瀬村	九平次	見頃村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	6月	木挽	庄瀬村	九平次	見頃村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	5月	木挽	はし本	栄七	八坂
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	6月	木挽	はし本	栄七	八坂
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	5月	木挽	はし本	仁太郎	八坂
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	6月	木挽	はし本	仁太郎	八坂
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	5月	木挽	はし本	当五郎	八坂
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	6月	木挽	はし本	当五郎	八坂
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	8月	大工	間瀬	善助	
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	7月	大工	間瀬	仙六	台畑村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	8月	大工	間瀬	仙六	台畑村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	7月	大工	間瀬	栄七	台畑村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	8月	大工	間瀬	栄七	台畑村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	8月	木挽	橋本	仁太郎	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	9月	木挽	橋本	仁太郎	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	8月	木挽	橋本	当五郎	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	9月	木挽	橋本	当五郎	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	8月	木挽	橋本	■蔵	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	9月	木挽	橋本	■蔵	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	8月	木挽	橋本	喜惣治	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	9月	木挽	橋本	喜惣治	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	8月	半役木挽	橋本	平蔵	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	9月	半役木挽	橋本	平蔵	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	8月	木挽	橋本	源八	慶徳
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	9月	木挽	橋本	源八	慶徳
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	9月	木挽	橋本	栄七	■村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	10月	木挽	橋本	栄七	慶徳
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	10月	大工	赤塚	清助	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	2月	半役大工	間瀬	与兵衛	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	3月	木挽	橋本村	善八	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	4月	木挽	橋本村	善八	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	5月	木挽	橋本村	善八	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	5月	木挽	橋本村	弥五郎	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	木挽	橋本村	善八	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	木挽	橋本村	佐五郎	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	大工	嶋井	岩蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	大工	観音寺	栄蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	6月	大工	稲嶋	助吉	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	8月	大工	間瀬	三治郎	新宮
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	8月	大工	巻	佐友	新宮
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	8月	大工	巻	佐四郎	見頃
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	8月	大工	巻	傳蔵	渋井
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	8月	大工	巻	文吉	松野
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	8月	大工	巻村	甚蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	閏8月	大工	巻村	甚蔵	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	閏8月	大工	間瀬	与平	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	閏8月	大工	巻	助友	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	9月	大工	巻	助友	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	閏8月	大工	間瀬	三治郎	
文化十三年慶徳組五職人御役銭取立帳	文化13年	9月	大工	間瀬	三治郎	



史料名	年	月	職	出身(越後)	名前	仕事場(会津)
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	6月	(大工)	稲嶋	平七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	7月	(大工)	稲嶋	平七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	8月	(大工)	稲嶋	平七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	9月	(大工)	稲嶋	平七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	10月	(大工)	稲嶋	平七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	4月	木挽	赤塚	清助	松野村
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	4月	半役大工	間瀬	要七	下高
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	5月	半役大工	間瀬	要七	下高
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	4月	大工	間瀬	要治郎	下高
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	5月	大工	間瀬	要治郎	下高
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	7月	大工	赤塚	清助	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	8月	(大工)	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	9月	(大工)	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	10月	(大工)	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	8月	大工	間瀬	仙六	五城目村
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	8月	木挽	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	9月	(木挽)	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	10月	(木挽)	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	7月	桶結	大野町	小平	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	8月	(桶結)	大野町	小平	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	9月	(桶結)	大野町	小平	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	7月	桶結	大野町	銀蔵	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	8月	(桶結)	大野町	銀蔵	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	7月	半役(桶結)	大野町	栄蔵	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	8月	半役(桶結)	大野町	栄蔵	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	9月	(桶結)	大野町	銀蔵	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	11月	大工	赤塚	清助	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	11月	大工	稲嶋	平七	松野村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	2月	大工	赤塚	清助	無代田(舞台田)
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	3月	大工	赤塚	清助	無代田(舞台田)
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	4月	大工	赤塚	清助	無代田(舞台田)
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	2月	半役木挽	赤塚	清助	山崎村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	3月	半役木挽	赤塚	清助	五目村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	4月	木挽	赤塚	清助	針生
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	5月	木挽	赤塚	清助	針生
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	5月	大工	赤塚	清助	松野村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	6月	大工	赤塚	清助	松野村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	7月	大工	赤塚	清助	松野村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	8月	大工	赤塚	清助	舞代田(舞台田)
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	9月	大工	赤塚	清助	舞代田(舞台田)
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	10月	大工	赤塚	清助	舞代田(舞台田)
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	8月	大工	巻町	佐四郎	荒分
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	9月	大工	巻町	佐四郎	荒分
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	8月	大工	巻町	傳蔵	荒分
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	9月	大工	巻町	傳蔵	荒分
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	8月	大工	稲嶋村	治四郎	大木村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	9月	大工	稲嶋村	治四郎	大木村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	10月	大工	稲嶋村	治四郎	大木村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	11月	大工	稲嶋村	治四郎	大木村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	8月	木挽	橋本	源八	長井村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	9月	木挽	橋本	源八	長井村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	10月	木挽	橋本	源八	長井村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	10月	木挽	橋本	栄七	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	10月	木挽	橋本	重吉	気多宮
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	2月	大工	間瀬	与平	慶徳村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	3月	大工	間瀬	与平	慶徳村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	4月	大工	間瀬	与平	慶徳村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	5月	大工	間瀬	与平	慶徳村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	6月	大工	間瀬	与平	慶徳村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	7月	大工	間瀬	与平	慶徳村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	8月	大工	間瀬	与平	慶徳村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	9月	大工	間瀬	与平	慶徳村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化11年	10月	大工	間瀬	与平	慶徳村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	2月	大工	赤つか	清介(助)	松野村
文化十一年慶徳組他所職人役銭取立帳	文化12年	3月	大工	赤つか	清介(助)	松野村



越後大工の会津への出稼ぎ - 近世の阿賀川流域を中心に -

史料名	年	月	職	出身(越後)	名前	仕事場(会津)
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	9月	(大工)	間瀬	仙六	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	10月	(大工)	間瀬	仙六	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	11月	(大工)	間瀬	仙六	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	8月	大工	間瀬	嘉七	慶徳村
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	9月	(大工)	間瀬	嘉七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	10月	(大工)	間瀬	嘉七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	7月	半役大工	間瀬	嘉吉	塚原
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	8月	丸役(大工)	間瀬	嘉吉	塚原
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	9月	(大工)	間瀬	嘉吉	塚原
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	10月	(大工)	間瀬	嘉吉	塚原
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	10月	木挽	庄じゑ(庄瀬)	所左工門	小布瀬原
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	11月	大工	間瀬	嘉七	新宮
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	2月	大工	稲嶋	良助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	2月	大工	稲嶋	傳兵衛	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	3月	大工	稲嶋	傳兵衛	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	3月	大工	稲嶋	良助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	2月	半役(大工)	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	3月	大工	赤塚	清助	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	4月	(大工)	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	5月	(大工)	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	6月	(大工)	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	2月	大工半役	間瀬	庄七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	3月	大工半役	間瀬	庄七	藤沢
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	2月	大工半役	間瀬	孫七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	3月	大工半役	間瀬	孫七	藤沢
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	4月	大工	間瀬	庄七	藤沢
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	2月	大工	間瀬	甚太郎	塩川
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	3月	(大工)	間瀬	甚太郎	塩川
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	4月	大工	間瀬	甚太郎	塩川
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	2月	半役大工	間瀬	音八	塩川
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	3月	半役大工	間瀬	音八	塩川
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	4月	半役大工	間瀬	音八	塩川
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	3月	半役木挽	赤塚	清左衛門	熱塩村
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	4月	半役木挽	赤塚	清左衛門	熱塩村
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	閏6月	大工	赤塚	清助	宮在家村
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	7月	(大工)	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	8月	(大工)	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	9月	(大工)	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	10月	(大工)	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	2月	半役大工	間瀬	嘉七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	3月	丸役(大工)	間瀬	嘉七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	4月	(大工)	間瀬	嘉七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	5月	(大工)	間瀬	嘉七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	6月	(大工)	間瀬	嘉七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	閏6月	(大工)	間瀬	嘉七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	7月	(大工)	間瀬	嘉七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	8月	(大工)	間瀬	嘉七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	9月	(大工)	間瀬	嘉七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	10月	(大工)	間瀬	嘉七	新宮村
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化5年	11月	大工半役	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	2月	大工	赤塚	清助	松ノ
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	3月	(大工)	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	4月	(大工)	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	5月	(大工)	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	6月	(大工)	赤塚	清助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	2月	半役用捨木挽	赤塚	清助	松野
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	3月	(木挽)	赤塚	清助	松野
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	3月	半役木挽	薄原村	長太郎	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	4月	丸役(木挽)	薄原村	長太郎	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	5月	(木挽)	薄原村	長太郎	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	6月	(木挽)	薄原村	長太郎	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	2月	大工	稲嶋	平七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	3月	(大工)	稲嶋	平七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	4月	(大工)	稲嶋	平七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化6年	5月	(大工)	稲嶋	平七	

内山大介・小澤弘道

史料名	年	月	職	出身(越後)	名前	仕事場(会津)
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	9月	大工	間瀬	十蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	10月	(大工)	間瀬	十蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	10月	(大工)	間瀬	栄七	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	10月	木挽	望(野積)	新次郎	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	10月	木挽	石瀬	勇介	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	10月	木挽	弥彦	和助	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	9月	大工	稲嶋	丈助	村松新田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	10月	(大工)	稲嶋	丈助	村松新田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	11月	大工	卷村	七蔵	綾金
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	10月	木挽	間瀬	万太郎	熱塩村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	大工	間瀬	嘉七	田原
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	(大工)	間瀬	嘉七	田原
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	7月	(大工)	間瀬	嘉七	田原
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	9月	(大工)	間瀬	嘉七	新宮
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	10月	(大工)	間瀬	嘉七	新宮
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	11月	(大工)	間瀬	嘉七	新宮
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	9月	大工	赤塚	源四郎	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	10月	(大工)	赤塚	源四郎	松野
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	10月	大工	赤塚	清助	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	10月	大工	赤塚	三蔵	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	12月	木挽	保田	半兵衛	赤崎
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	12月	木挽	保田	勘蔵	赤崎
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	11月	木挽	間根(瀬)	万太郎	熱塩
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	11月	木挽	保田	寅之助	熱塩
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	12月	木挽	間根(瀬)	万太郎	熱塩
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和4年	2月	木挽	里山(佐渡山)	清蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和4年	2月	木挽	里山(佐渡山)	嘉四郎	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和4年	2月	木挽	里山(佐渡山)	猪七	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和4年	2月	大工	間瀬	十蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和4年	2月	大工	間瀬	栄七	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和4年	2月	半役大工	間瀬	善七	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和4年	7月	木挽	中嶋	権八	慶徳
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和4年	8月	(木挽)	中嶋	権八	慶徳
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和4年	9月	(木挽)	中嶋	権八	慶徳
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化3年	6月	大工	間瀬	助蔵	堀出
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化3年	8月	大工	間瀬	重蔵	無代田(舞台田)
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化3年	9月	(大工)	間瀬	重蔵	慶徳
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化3年	10月	(大工)	間瀬	重蔵	慶徳
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	3月	半役大工	間瀬	賀七	慶徳
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	4月	大工	間瀬	賀七	慶徳
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	5月	(大工)	間瀬	賀七	慶徳
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	6月	(大工)	間瀬	賀七	慶徳
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	7月	(大工)	間瀬	賀七	慶徳
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	5月	大工	間瀬	賀吉	大沢
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	6月	(大工)	間瀬	賀吉	大沢
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	5月	(大工)	間瀬	甚太郎	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	6月	(大工)	間瀬	甚太郎	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	5月	(大工)	間瀬	要吉	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	6月	(大工)	間瀬	要吉	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	5月	半役大工	間瀬	音八	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	6月	半役大工	間瀬	音八	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	5月	半役大工	間瀬	要七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	6月	半役大工	間瀬	要七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	7月	大工半役	間瀬	要吉	大沢村
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	8月	(大工)	間瀬	要吉	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	9月	(大工)	間瀬	要吉	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	10月	(大工)	間瀬	要吉	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	11月	(大工)	間瀬	要吉	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	7月	半役大工	間瀬	善七	大沢村
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	8月	半役大工	間瀬	善七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	9月	半役大工	間瀬	善七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	10月	半役大工	間瀬	善七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	11月	半役大工	間瀬	善七	
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	7月	(大工)	間瀬	仙六	大沢村
享和三年慶徳組他所職人控帳	文化4年	8月	(大工)	間瀬	仙六	



越後大工の会津への出稼ぎ - 近世の阿賀川流域を中心に -

史料名	年	月	職	出身(越後)	名前	仕事場(会津)
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	半役木挽	割前	新之丞	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	大工	弥彦	又七	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	(大工)	弥彦	又七	上三宮
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	(大工)	弥彦	又七	坂井村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	大工	赤塚	源四郎	見頃
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	(大工)	赤塚	源四郎	小荒井
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	(大工)	赤塚	源四郎	松野
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	(大工)	赤塚	源四郎	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	7月	(大工)	赤塚	源四郎	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	(大工)	赤塚	源四郎	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	木挽	田上	三吉	譲屋
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	(木挽)	田上	三吉	宇津野
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	(木挽)	田上	三吉	慶徳
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	7月	(木挽)	田上	三吉	百木田中
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	大工	牧村	七蔵	塩川
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	(大工)	牧村	七蔵	塩川
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	(大工)	牧村	七蔵	塩川
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	7月	(大工)	牧村	七蔵	綾金
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	7月	大工	間瀬	十蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	(大工)	間瀬	十蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	7月	大工	間瀬	栄七	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	大工	間瀬	栄七	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	7月	大工	赤塚	清助	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	7月	大工	赤塚	三蔵	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	7月	木挽	稲嶋	清助	山岩尾
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	(木挽)	稲嶋	清助	山岩尾
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	7月	木挽	割前	繁蔵	熱塩村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	(木挽)	割前	繁蔵	熱塩村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	大工	稲島	金蔵	無台田(舞台田)
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	大工	間瀬	清吉	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	大工	間瀬	久作	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	7月	半役大工	牧村	助吉	綾金
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	半(大工)	牧村	助吉	綾金
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	9月	半(大工)	牧村	助吉	綾金
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	7月	大工	牧村	甚助	綾金
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	(大工)	牧村	甚助	綾金
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	9月	(大工)	牧村	甚助	綾金
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	(大工)	牧村	七蔵	綾金
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	9月	(大工)	牧村	七蔵	綾金
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	木挽	与板	栄蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	9月	(木挽)	与板	栄蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	10月	(木挽)	与板	栄蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	11月	(木挽)	与板	栄蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	大工	赤塚	清助	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	9月	(大工)	赤塚	清助	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	(大工)	赤塚	三蔵	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	9月	(大工)	赤塚	三蔵	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	木挽	保田	寅之助	熱塩
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	木挽	保田	圓之助	熱塩
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	9月	(木挽)	保田	圓之助	熱塩
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	10月	(木挽)	保田	圓之助	熱塩
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	9月	木挽	保田	寅之助	熱塩
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	10月	(木挽)	保田	寅之助	熱塩
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	木挽	田上	三吉	慶徳
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	9月	(木挽)	田上	三吉	慶徳
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	7月	大工	吉田	十吉	山崎村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	(大工)	吉田	十吉	山崎村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	9月	(大工)	吉田	十吉	山崎村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	9月	大工	間瀬	庄七	栗生沢村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	10月	(大工)	間瀬	庄七	栗生沢村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	木挽	石瀬	勇助	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	木挽	望(野積)	新次郎	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	9月	(木挽)	望(野積)	新次郎	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	8月	木挽	弥彦	栄次	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	9月	大工	間瀬	栄七	吉志田



内山大介・小澤弘道

史料名	年	月	職	出身(越後)	名前	仕事場(会津)
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	(大工)	間瀬	十蔵	吉志田村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	大工	間瀬	栄七	吉志田村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	(大工)	間瀬	栄七	吉志田村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	大工	弥彦	又七	吉志田村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	大工	出雲崎	吉五郎	大沢村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	(大工)	出雲崎	吉五郎	大沢村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	半役木挽	石瀬	定吉	上三宮
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	半役(木挽)	石瀬	定吉	上三宮
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	木挽	田上	三吉	慶徳村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	大工	間瀬	浅次郎	見頃村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	(大工)	間瀬	浅次郎	見頃村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	大工	赤塚	清助	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	大工	赤塚	三蔵	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	大工	間瀬	嘉七	田原
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	(大工)	間瀬	嘉七	田原
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	(大工)	間瀬	嘉七	田原
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	木挽	笈ヶ嶋	八郎兵衛	金屋
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	(木挽)	笈ヶ嶋	八郎兵衛	金屋
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	大工	吉田	十吉	山崎
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	(大工)	吉田	十吉	山崎
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	(大工)	吉田	十吉	山崎
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	(大工)	吉田	十吉	
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	大工	赤塚	清助	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	(大工)	赤塚	清助	宮在家
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	大工	赤塚	三蔵	見頃村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	(大工)	赤塚	三蔵	見頃村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	大工	稲島	平七	山岩尾
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	大工	稲島	金蔵	山岩尾
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	木挽	稲島	清助	山岩尾
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	大工	稲島	平七	山岩尾
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	大工	稲島	金蔵	山岩尾
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	木挽	稲島	清助	山岩尾
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	大工	間瀬	清吉	山岩尾
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	大工	間瀬	久作	山岩尾
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	半役大工	間瀬	栄七	山岩尾
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	(大工)	間瀬	栄七	山岩尾
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	半役大工	間瀬	十蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	(大工)	間瀬	十蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	木挽	与板	栄蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	木挽	与板	栄蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	(木挽)	与板	栄蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	7月	半役(木挽)	与板	栄蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	木挽	割前	繁蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	(木挽)	割前	繁蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	木挽	割前	直右衛門	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	半役木挽	割前	忠蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	半役木挽	割前	忠蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	大工	牧村	甚助	松ノ
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	(大工)	牧村	甚助	松ノ
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	半役大工	牧村	助吉	松ノ
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	(大工)	牧村	助吉	松ノ
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	半役(大工)	間瀬	養吉	
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	丸(大工)	間瀬	養吉	
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	(大工)	間瀬	養吉	
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	(大工)	間瀬	養吉	鑑召
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	(大工)	間瀬	養吉	鑑召
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	大工	間瀬	弥之助	鑑召
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	半役大工	間瀬	弥四郎	鑑召
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	大工	間瀬	久作	山岩尾
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	大工	間瀬	清吉	山岩尾
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	7月	大工	間瀬	久作	山岩尾
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	7月	大工	間瀬	清吉	山岩尾
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	木挽	割前	直右衛門	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	半役木挽	割前	忠蔵	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	木挽	割前	繁蔵	吉志田

表1 外島家文書にみる月別出稼ぎ職人一覧

史料名	年	月	職	出身(越後)	名前	仕事場(会津)
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	大工	間瀬	十蔵	吉志田村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	(大工)	間瀬	栄七	吉志田村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	大工	間瀬	十蔵	吉志田村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	(大工)	間瀬	栄七	吉志田村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	大工	間瀬	喜四郎	居所不明
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	大工	間瀬	吉松	居所不明
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	大工	間瀬	要助	居所不明
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	半役大工	間瀬	八郎	居所不明
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	半役大工	間瀬	福蔵	居所不明
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	大工	牧村	甚助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	大工	牧村	七蔵	
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	半役(大工)	牧村	助吉	
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	大工	牧村	甚助	綾金
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	大工	牧村	七蔵	綾金
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	半役大工	牧村	助吉	綾金
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	大工	牧村	甚助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	大工	牧村	七蔵	
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	半役大工	牧村	助吉	
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	大工	牧村	甚助	
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	半役大工	牧村	助吉	
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	木挽半役	田上	三吉	居所不明
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	丸(木挽)	田上	三吉	百木田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	大工	弥彦	又七	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	(大工)	弥彦	又七	吉志田
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	半役木挽	与板	栄蔵	吉志田村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	丸(木挽)	与板	栄蔵	吉志田村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	(木挽)	与板	栄蔵	吉志田村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	半役大工	卷村	甚六	
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	丸(大工)	卷村	甚六	高吉村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	(大工)	卷村	甚六	高吉村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	半役大工	卷村	甚蔵	
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	半役(大工)	卷村	甚蔵	高吉
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	半役大工	卷村	甚蔵	高吉
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	大工	稲島	丈助	村松
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	(大工)	稲島	丈助	村松
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	木挽	笈ヶ島	平吉	金屋村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	(木挽)	笈ヶ島	平吉	金屋村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	大工	赤塚	源四郎	松野
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	(大工)	赤塚	源四郎	松野
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	(大工)	赤塚	清助	見頃
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	(大工)	赤塚	清助	見頃
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	(大工)	赤塚	三蔵	見頃
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	(大工)	赤塚	三蔵	見頃
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	大工	吉田	十吉	慶徳
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	半役木挽	石瀬	勇助	上三宮
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	丸(木挽)	石瀬	勇助	上三宮
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	丸(木挽)	石瀬	定吉	上三宮
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	閏正月	大工	間瀬	庄七	見頃村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	(大工)	間瀬	庄七	見頃村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	(大工)	間瀬	庄七	見頃村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	2月	木挽	保田	留次郎	熱塩
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	木挽	保田	留次郎	熱塩
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	(木挽)	保田	留次郎	入田付
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	(木挽)	保田	留次郎	入田付
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	(木挽)	保田	留次郎	熱塩村
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	半役木挽	保田	与惣治	熱塩
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	半役木挽	保田	与惣治	入田付
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	半役木挽	保田	与惣治	入田付
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	半役木挽	保田	与惣治	熱塩
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	半役木挽	保田	富八郎	熱塩
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	4月	半(木挽)	保田	富八郎	入田付
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	5月	半(木挽)	保田	富八郎	入田付
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	6月	半(木挽)	保田	富八郎	熱塩
享和三年慶徳組他所職人控帳	享和3年	3月	大工	間瀬	十蔵	吉志田村